京城日報 四日夕刊
（年中無休刊）（明治三十九年九月八日第三種郵便物認可）（水曜日）THE KEIJO NIPPO 大正六年九月五日（一）

特使鐵禁解除交渉 妥協點發見＝條件如何

石井遣米特使は目下米國政府に對し鋼鐵輸出禁止解除の件に付交渉中にして兩者間に妥協點を發見したるもの、如く鋼鐵解除の條件は日本に輸出せる鋼鐵を材料として建造せる船舶は戰爭の目的に使用すべしと云ふに在りと（紐育電報）

佛國でも日本出兵說

佛國にては日本政府の石井大使米國派遣は露國現在の時局を解決するものとなし日本は早晩露國戰線に向つて出兵なるべしと觀測しつゝあり（巴里電報）

反革命派陰謀 露都にて發覺＝知名の政治家及將校關係す＝證據物件押收

莫斯科に於ける全露國民大會の際露都に於て反革命派の陰謀發見せられたり其の首謀者中には知名の政治家及び將校等あり搜索の結果該陰謀に關する證據物件を押收したり（敦倫電報）

獨軍一個聯隊全滅 死屍塹壕を埋む＝露軍の奮戰

フオクサニの戰鬪に於て獨逸軍は三十二回まで露軍塹壕の一地點を攻撃せしも何れも撃退せられたるが該高地は十個聯隊の將卒の死屍を以て掩はれたり而して獨軍の某一個聯隊は全員悉く戰死したり（露都電報）

獨軍愈々リガに迫る

獨軍はリガ東南のドウナを渉りてクプフエルマンマーを占領し更に北方に進軍せり獨軍は又ミタウ街道地方に攻勢を取り戰鬪繼續中なり（倫敦電報）

芬蘭議會兵備解除

芬蘭議會は二十九日夜より兵備を解除せるも依然として一般傍聽者の入場を許容せず（露都電報）

敵掃海船四隻破壞

英國公報に曰く我英國艦隊は三十一日ジユツトランド海岸沖合にて敵掃海船四隻を破壞せり（紐育電報）

陸榮廷氏元帥辭退

陸榮廷氏は廣東非常國會より元帥に推されたるも固辭したりと（北京特電）

漢江水力電氣計畫 發電所は京城より十里の上流

三百萬圓の資本金を以て株式組織となし漢江水力電氣事業を計畫し居れりとの事なるが其の創立發起人總代松本孫右衛門氏は七月其の創設認可申請の願書を總督府に提出し長谷川總督及び松川軍司令官に對し之が說明を爲したり發電所豫定地は京城上十里の漢江上流なる前面の土地は更に實地踏査をなして確定すべしと（東京特電）

南潯鐵道借款

廣東來電に據れば滿州より江西省南昌に至る南潯鐵道は今回我が國に大借款を申込み來れる由にて目下東京にて引受につき交渉中なりと（東京特電）

日支製鐵所計畫

安川家にては資本金一千萬圓にて日支合辦の製鐵所を若松製鐵所擴張敷地附近の黒崎に設置する事となり鐵材は漢冶萍公司より石炭は山東省撫順炭礦公司より供給を受くべしと（東京特電）

沒收敵船廻航

支那に於て沒收したる獨墺汽船は近く神戶に廻航せしめ三菱造船所に入渠修理すべしと（大阪特電）

山根代議士來鮮

代議士山根正次氏は其の令孃なる水産講習所への病氣見舞の爲め四日朝新羅丸にて釜山に到着午前十時三十分發列車にて京城へ急行せり（釜山特電）

政務總監東上

山縣政務總監は郷里萩に歸省中なりしが都合に依り二日出發の筈なりしが四日朝小郡驛發遠藤秘書官を隨へ東上の途に就ける旨其の筋に電報ありたり

定例長官會議

四日は定例長官會議日なるより長谷川總督以下各部長官局長所屬官署の長等は午前九時より總督府第一會議室に參集主要政務に就き協議打合の上正午散會したり

振替貯金改則

郵便振替貯金規則中改正の件九月五日より實施の事となれり右は振替貯金に依る集金と郵便に依る集金とは何等か間隔の性質を有するものなるに拘らず從來其の書式及び取扱方に區別ありし爲め郵便局所に於ける事務取扱上不便少からざりしを以て今回集金郵便の樣式を改むると同時に其の取扱方を大體郵便に依る集金の場合と同樣とせるに在り

東都短信　東京支局　一記者

▼海軍次官鈴木中將去りて、栃內中將入る。鈴木中將の海上生活に入るが如きは[illegible]。しかも其次官としての公生涯は、最も多忙にして意味ありし一たるを失はず。栃內中將は曾て海相[illegible]の下に秘書官兼副官として行政的手腕を認められ、官として將來の海相を以て目せられし人、[illegible]の出にして、青島の戰役に[illegible]知るところ。[illegible]

▼本年の[illegible]閉會に於て決定す可き[illegible]の實施は、次の定例閉會まで延期せらるゝ[illegible]が、地方の實情に順應し[illegible]行政の統一に資す可く、[illegible]が租借地に民政を布くと共に、東鐵道[illegible]法學博士を朝鮮總督府參事官より抽きて民政長官に[illegible]

▼[illegible]の事實なるが如く傳へられ、[illegible]以て公布施行せんと[illegible]入りて、[illegible]

▼[illegible]近夜の月は[illegible]し。只二百十日の氣候に就て各地[illegible]からざるを慶す可しとなす。（九月一日後四時）

郡參事任命

[illegible]氏は病氣の爲め退職せるに[illegible]

秋蠶繭收量豫想高 前年に比し十割九分の激增

本年は春蠶及び夏蠶共に近年稀なる豐作にして繭價亦未曾有の高値を唱へ養蠶家は意外の利益を收めたるを以て當業者の秋蠶に對する意氣込頗る強く蠶種の掃立枚數は前年に比し八割八分を增加し八萬五千七百八十三枚の多きに上り加ふるに飼育中の天候は概して適順なりしを以て蠶兒の發育[illegible]良好なるを以て收繭額は一萬五千九百十五石に達す可き豫想なり之を前年の實收高に比すれば實に八千三百[illegible]石即ち十割九分の激增なり今[illegible]

秋蠶掃立枚數收繭高を比較すれば左の如し

年次	掃立枚數	收繭高
明治四十三年	[illegible]	[illegible]
同四十四年	[illegible]	[illegible]
大正元年	[illegible]	[illegible]
同二年	[illegible]	[illegible]
同三年	[illegible]	[illegible]
同四年	[illegible]	[illegible]
同五年	[illegible]	[illegible]
本年の豫想	[illegible]	[illegible]

因に本年の[illegible]收繭豫想高は[illegible]五千九百[illegible]石に[illegible]すれば總額に於て三割[illegible]の增加を見る可き豫想なり

紅蔘製造準備

總督府度支部專賣課開城出張所管內に於ける本年度紅蔘原料水蔘採掘査定は九月一日を以て全部終了せるより同出張所にては十五日より廿日間の豫定を以て之を採掘し九月十七日收納開始と同時に[illegible]

軍司令官巡視

松川軍司令官は山本參謀[illegible]副官を隨へ四日午前八時半より龍山騎兵隊、京城衛戍病院、[illegible]隊等を巡視したり尙ほ五日は午前八時より龍山陸軍倉庫[illegible]を巡視の筈

支那憲法と地方自治 南北兩派融和の兆あり＝支那を理解する日本人＝

支那政府顧問　有賀博士談

支那政府の顧問、法學博士有賀長雄氏は北京へ赴任の途次三日午前入京大和屋旅館に投宿したるが同士の談に曰く

予は七月二十一日民國政府との顧問契約期限滿了したるを以て北京を引揚げ歸國中であつたが支那政府から更に向ふ一年[illegible]

▼繼任の下相談

[illegible]が有つた故に我政府當局とも打合せの上八月十七日繼任を承諾した次第であるが實は七月北京引揚當時一切を處分して歸任なぜ[illegible]云ふ事へは更に歸つて居らなかつた。今度は此の一年を全く身を退く事が能きるならんと考へて居る。總統又は總理は顧問が日本人なるを欧米人なる當局に當る人なぜは[illegible]いか[illegible]張りて日本人でなければ何んと云つても任事の運びが付かぬらしい。又支那は世界でも日本人の者に出るものは無い位である。予も支那人を最もよく理解して居る者と[illegible]の點に於て支那の政治及び慣習等を深く研究した上にて支那

▼獨特の憲法を[illegible]

親和安協の途を取つて居る

[illegible]して來た事は今日北方派を制する實力なく北洋派も亦力を恃んで南方派を壓服する事は內外の國情を失ひ南方派の乘ずべき口實を與ふるものとして近來大いに其態度を更めて來た點から考ふれば此總統も相互に努めて親和安協の途を取つて居る。支那の憲法に就いては予は軍事、交通、外交、租稅等の大綱の外は能ふ限り地方自治を認容する意見を有し各省は其の地方に於て地稅及び所得稅等は其の地方稅に依つて大體の歲計を立て更に中央政府より之れが補助を爲さなければならぬ元來支那が其の統一を缺ぐ原因は中央政府が地方官廳より其の歲計を助けられて居るといふ事が主なる原因の一つであるから之等は新政と共に大に改めなければならぬ事で有らうと思ふ支那政府は

財源を擔保に 借して居る

各種借款の爲に海關稅其他の主なる[illegible]收入は殆んど全部擔保となつて居るのであるから[illegible]其の整理に由つて起る國家の財源を得る事は決して難かしい事ではない予は今回繼續就任後は直ちに憲法の制定を[illegible]し其の後は[illegible]等を[illegible]んで[illegible]開なる日を送らうと考へて居る上流支那人は以前より頗る理解して交りを[illegible]した者は何れも[illegible]に效を收めて居る此の點から予は日本人の多くに支那の文明を[illegible]し之れを愛好し理解する[illegible]事は必要の事であらうと考へる

西朝鮮一巡り 別府生

兼二浦より

▲三年振りに黃州より兼二浦支線の列車に搭乘いたし候、從來三菱製鐵所の工事進捗に伴ひ、同地の發展も新に二等停車場となり、三菱製鐵所の工事の進捗と共に人家の增加を來し居り候

▲以前の兼二浦は既に製鐵所の構內に收容され、新たに市街の中[illegible]の此頃の役所の所有に[illegible]候、此地は本年は三千人を示し[illegible]一千三百名なりしも本年は三倍の四千人を算し[illegible]增加の[illegible]候

▲此の日[illegible]時には[illegible]が小生は先づ製鐵所を訪ひ[illegible]

▲去つて市中を一巡致し候。昨年の今日此頃、此地の內地人は七百名內外なりしもの、本年に至りて此地の人口は一千二百を超へ、[illegible]新來者の增加[illegible]

▲唯、既に相當の資本家の入込みある[illegible]

[illegible]

國分長官出張

司法部長官國分三亥氏は司法事務視察の爲め四日附を以て慶尙南道及び全羅南道管內に出張を命ぜられたり近く出發す可し

河野大佐勤務 歐洲戰況視察の途次入京せる河野大佐は四日朝總督府に長谷川總督以下各部長官局長を訪問し[illegible]

有志歡迎會 總督府並に所屬官署の有志は七日午後七時より京城ホテルに於て河野大佐を招聘し歡迎會を開く筈なり

前田大佐巡視 警務總監部警務課長前田大佐は[illegible]三日夜北行列車にて出張せるが往復約三日間の豫定也

鹽澤警務部長視察 新任京畿道警務部長鹽澤大佐は吉田小隊長を隨へ四日午後東大門方面電車庫[illegible]を視察せり

矢鍋事務官着任 新任山口稅關長より總督府關稅課長に榮轉を命ぜられたる矢鍋永三郎氏は三日夜入京着任四日登廳の上有賀前關稅課長との間に事務引繼を了せり

水産課長歸期 總督府水産課長谷[illegible]氏は四日午後九時南大門着列車にて歸任す

松井稅關長赴任 總督府事務官より元山稅關長に榮轉を命ぜられたる松井房次郎氏は四日午後[illegible]

小學校新設問題

京城居留民團學校組合委員會は既報の通り三日午後二時より全員出席を以つて府廳に開催、先に附托事項と成りて土地物件の實地調査を了したる龍山に小學校を新設する件及び之れに關聯する豫算の更正等に就き種々打合せを爲し委員側の質問管理者側の應答あり意見を交換し研究を重ねしが結局決定に至らずして五時頃散會したり因に來る七日再び委員會を開き決定を見たる上十日過ぎ本會議を召集すべき豫定なりと

▲大塚少佐渡鮮視察　軍司令部附步兵少佐大塚堅之助氏は步兵第八十聯隊第三期末檢閱並に鎭海灣重砲兵大隊海岸射擊視察及び事務打合せの爲め九月三日出發同十一日歸來の豫定を以て大邱、馬山及び鎭海地方に出張せり

人事消息

▲野口[illegible]氏（土木局[illegible]）三日[illegible]

▲[illegible]氏（事務官）四日[illegible]

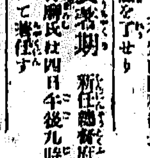
▲[illegible]博士（[illegible]府法務顧問）四日南大門着

▲[illegible]步兵大佐（[illegible]）三日夜九時四十分南大門着北行列車にて歸任

▲小野大尉（軍司令部參謀）步兵第七十七聯隊第三期末檢閱並に[illegible]の爲め六日[illegible]

▲西村[illegible]氏（第一銀行[illegible]）四日[illegible]

▲[illegible]氏（[illegible]）[illegible]



浴後に

○露國大會の結果、新現象を呈し來りたるは、コロニコフ將軍が、兵馬の權を提げ、堂々政界に讓歩し[illegible]る事也。露國國民之を治むるは、實力の一あるのみ、實力とは何ぞや、武力也。現在の露國に於ける、治國平天下の要具は、實に武力を措て他に非ざるべし。試に見よ、支那の段氏[illegible]のヒンデンブルグの趨勢、之れ[illegible]他あらんや。コロニコフ將軍に[illegible]の歸す、又故なしとせず。

○物價調節令は、意外の恐慌を惹起せり、自信に乏しき投機界の周章狼狽は、門外漢をして、失笑せしむ。蝸牛角上の爭鬪戰に忙しき人爲的の鹿を逐ふ[illegible]の色ある、餘りに小膽[illegible]

○每年盆前に、何時も[illegible]嫌ひなきに非ずや。

[illegible]なく、一面[illegible]底也。之れも[illegible]一ならんか。然ども此の[illegible]烈しければ、烈しかりし丈け大成功を收むるの一手段かを疑ふ。其の感恥ある可し。

◇毎年數回氾濫の厄に遭ふ水標橋川

●打棄つて置かれぬ排水路

水標橋一帶浸水目衛生上の重大問題

流域十人の人夫が一年中掘つて掘割つても一時間の驟雨があれば元通りの川床となる

京城市唯一の排水路たる水標橋溝渠は近年土砂著しく堆積し其の結果として三四時間の大雨に遭へば忽ち河水氾濫して水標町、笠井町、舟橋町、芳山町の一部及び鍾路三、四、五丁目の裏手なる觀水洞、長沙洞、禮智洞一帶に汚物を混入せる濁流浸水するのみならず

▲浸漲の下流は土砂に埋めせられたる爲め其の支流に於ける若草町、櫻井町、花園町及び敦義洞、於義洞方面の下水溝渠も動もすれば氾濫横溢し町家の床下を浸し道路を破壞する等年一年と甚だしきものがある府當局に於ても決して之れを知らぬ譯ではない又知つて之れを放置する譯はないが要するに一定の經費を以て夥多の事業を營み未だ排水路の浚渫に對して充分なる施設を爲すに及ばざるべきも一度水標橋下流兩岸の氾濫狀況を見るに於ては

●其の一日も打棄て置くべからざる事由を認むるであらう、此の附近は內鮮人の何れも中流以下の細民居住し平常に於ても其の生計に追立られ不潔非衛生的ならざるを得ざるに加ふるに市內の排水溝氾濫し度々濁流の浸水を蒙るに於ては其の衛生上恐るべき狀態にあるは言を俟たざる處である萬一浸水後に惡疫の發生する事でもあらば其の甚だしきに及ばないとも限らぬ

●凡そ一つの都市として衛生上最も重要なるものは排水道と共に排水路の完成である若し排水が不完全であり市中の下水が何に市街民家の床下、路上に溢ふ如き有樣であるならば其の市街は或は衰亡を來すかも知れない京城は四圍が山岳であるから一雨毎に此の排水路に向つて土砂を流下する故に斷えず浚渫を行はずに打捨て置く時は溝渠は忽ち土砂の爲めに堆積して終う事は當然である韓國時代に在つても此の

●溝渠は土砂に填塞せられたる事は今日と變りなく韓國政府は三箇年に一回市民に賦役を課し大々的に溝渠の浚渫を行ひ其の土砂は今の水標町及び笠井町、舟橋町の三箇所に設けたる廣大なる砂溜場に集積し水口門に近き下流に在つては其の兩岸に堤塘を築造し排水路の充塞を防いで居た然るに近年三箇所の砂溜場は市街宅地として總督府より拂下げとなり

◆又一方浚渫の方法も全く行はれない爲め溝渠水の氾濫を見るに至つたのは蓋し當然の事であるされば京城府廳は此の排水溝に對して全然浚渫を沙汰で居るかと云ふに決して左樣の譯ではなく例年三三十人乃至數十人の人夫が溝の中央を掘割つて流水の疏通を圖つて居る併かしながら斯くの如きは全く姑息の策であつて一時間の驟雨は能く是十人の人夫が一年中努力して掘き消したものを元通りの土砂推積の川床として終ふのである（つゞく）

●大阪へ生魚も行かぬ

富山縣虎疫猖獗　富山縣の虎列拉病患者は既に七十三名に達し石川縣の一部にも發生せるにつき同地方の魚類は大阪への移入を禁止することとしたり（大阪特電）

●澤慶師推擧派 處分されん

西本願寺前管長代理大谷澤慶師を推して法主たらしめんとの策を立てし內田氏等近く處分せらるべしと（大阪特電）

●臺灣談合事件 悉く無罪

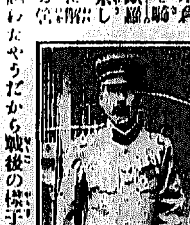
臺灣の疑獄として知られたる土木請負業談合事件は三日臺北法院にて判決あり全部無罪となれりと（大阪特電）

●僧侶、佛前で信徒を斬る 自身は投身

香川縣綾歌郡陶村居住の僧侶川崎秀雄（四〇）は去る三日法衣の下に鎌を忍ばせ佛前にて信徒なる同郡滝の宮村字畏原居住の農西原熊助（五〇）を殺害せんとし西原に重傷を負はせ自身は釣瓶縄を首に卷きて投身したりと（大阪特電）

◇大戰後の歐羅巴を……◇

視察に往く河野騎兵大佐



前鞭騎附武官河野騎兵大佐は三日の夜三年振りに入京した、永登浦やら龍山からは舊知の人々が出迎へて、南大門驛にも「京城乘馬俱樂部」の連中が見ゑた大佐は京城から水倉の騎兵第十三聯隊附に榮轉し次で騎兵第一聯隊附となつたが過日歐羅巴の戰線を視察に往く途中入京したのである「歸朝の時期はまだ解らぬが大凡二年ばかり滯在する筈だ歐羅巴の戰亂は何うやら峠を越えたやうだから戰後の樣子も視て來たいと思ふ、露西亞へも、英國へも、佛蘭西へも方々に往く積り、京城も變つたらうな……」〇宿は舊知の阪本氏宅、旭町三丁目の龍國寺の上である

●南行列車延著

[illegible]

●郵便配達夫に初めて鮮人を

今回大阪中央郵便局に於て初て朝鮮人の郵便配達夫二名を採用せるが二名は共に採用後成績頗る良好なるを以て中央局に於ても近く一名の鮮人配達夫を採用すべしと（大阪特電）

●米國陸軍中尉罰金三十圓

米國陸軍中尉イー、レー、エー、ペリーは長崎にて要塞地帶撮影禁止に違反し取調べの結果罰金三十圓に處せられたりと（大阪特電）

●各地出水 漢江增水廿尺

三日來の豪雨にて京畿道各地に於ける水害狀況を聞くに龍山元町四丁目下に於て漢江の增水は四日正午二十尺五寸に達せり

▲橋上を渡船　京城憲兵分隊管內麻浦街道の新川橋は增水の爲め四日午前八時より橋上を渡船にて交通し居れり

▲橋梁流失す　楊州憲兵分隊管內臨津江は三日午後二十二尺の增水を示し同增水の模樣にて其の他の各河川は何れも五尺乃至七尺の出水あり麻田の北方なる無名川に架しある橋梁二箇所流失せり而して楊州より漣川、麻田、朔寧、積城等に通ずる各方面は出水の爲め三日來何れも交通杜絶せり

▲自動車立往生　加平郡にては加平邑內より春川に通ずる道路の橋梁破損して交通不能となり加平清平間は橋梁流失し爲めに自動車は清平川にて立往生し京城より春川行郵便物は何れも加平に滯留中

▲交通杜絶す　江原道麟蹄江は三日午後四時より同六時迄に十二尺の增水となり渡船不可能となりて交通杜絶せり又新延江は三日午後六時迄に十七尺增水し交通杜絶せり

▲錦江二十一尺　四日の豪雨にて錦江の公州附近增水二十一尺に及べり（鳥致院特電）

▲鳥致院附近　鳥致院附近尾湖川支流の鳥川は河床高き爲め平素水深淺く舟楫の便なき河流なるが四日朝來の豪雨にて水深四尺に及び尚ほ增水の模樣あり（鳥致院特電）

▲公州市街浸水　四日朝來忠清南北道地方大雨あり爲めに公州は市街の浸水家屋百四十戶に及び警察署外一箇所の橋梁流失し公州市內は大混雜を極め居れりとの報あり（鳥致院特電）

◇張勳邸に幽靈

爆裂彈―東安門のほとり―幽靈祭

復辟の烽火が燐火の如く消え去つた北京の町は、段內閣の旗が落つきそめたとは云へ、市民は相變らず沈靜し切つてゐる、人心は兎角浮動するを免かれぬ

◆これも不景氣な北京の化物ばなしの一つ、支那にありさうな張勳邸の幽靈物語であるが、辮髮兵の張勳の部下が先般の砲火に斃れた跡は云ふまでもなく、ドス黑い流れの湯爛の際、四肢所を異にして辮子兵の死骸は、入口を塊死に塗り込められた張勳邸と共に今猶ほ當時の慘狀を想ひ起さしめる、幽靈は此の附近に出る深夜人靜まり雨暗き夜になると何處ともなく辮髮兵が血潮に染みつゝ通るといふのである、東安門のほとりあたりには今猶ほ宇宙に迷うた生靈がフラ／＼してゐるといふ、それかあらぬか先日の盆には東安門で生靈祭が催された、金襴の袈裟で包まれた僧侶の列圍には

◆僧侶やら道士やらが集つて銅鑼太鼓を敲きながら終日何か叫び通した、それに張勳邸からは二間餘の『救世の船』といふのが曳き出されて道士の命によりて火に燃かれた、支那は何處までも支那である（北京にて天風生）

●內地婦人轢死

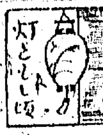
永登浦京町居住菓子商志賀總臨內緣の妻長崎縣生れの田中さい（三〇）は去る二十八日午後十時三十分頃ヒステリーに罹り加療中近來病勢一層惡化して家を飛び出し永登浦より北方約三丁位の鐵道線路を横切らんとし折柄通行し來れる仁川行列車を目掛けて線路內に飛び込み轢死を遂げたり

●揮發油の爆發

三日午前七時頃釜山南濱町三丁目二十四番地武田要兵衛方の雇人川端健次（二〇）が揮發油入りの石油罐に火を點じたる折柄大爆音と共に約二間餘離れたる石油罐に燃移り危く大事に至らんとせしが爆音に驚かされし家人協力して漸く消止めたり同家には右の外二十八罐、約二石の揮發油を積みありし事とて其の損害一方ならず場所柄とて一時は非常の人出なりき（釜山）

●傳染病

京城黄金町四丁目二百七十一番地猫山とみ（二六）は三日赤痢と診斷同七丁目四十四番地鄭鎮泰の妻劉姓女（二一）も同上南大門通五丁目二十三番地支那人鄭以珊及び鄭愛人（二）も同上赤痢と診斷目下避病舍に隔離中なり



▲三日京城を通過して北京に赴いた支那政府顧問有賀博士の隨員中には狩野東信氏（一七）と云ふ若い日本畫家が居つた

▲有賀博士の諸に由ると此の狩野東信氏は狩野法眼元信の直系狩野忠信氏の長男で狩野派本家の嫡流であるさうだ

▲東信君は少年時代から狩野家の畫法を習ひしも新奇を逐はず古法の眼の筆法に潛思して十數年門外を踏まず專念工夫を凝して居つた

▲これを聞いた有賀博士は今回戰餘の支那諸及び支那南北の山水を見學せしめる爲めに伴つて來た

▲博士は曾て狩野派攻究時代に其外人講師と共に日本畫の研究を爲し殊に狩野派の諸の鑑識を持つて居ると云ふ事だ

▲狩野家には常信以來大家なく其の家門も微々として現はれなかつたが東信氏を得て家門再興の運に向ふであらうとの事だ

▲博士は來春東信氏を伴つて南支那に遊び南畫を生みたる南方の山水を研究し舞臺より狩野家に傳りたる工風變化の蹟を研究する考へであるさうだ

●戎捕球會結果

[illegible]

●數百名火中に叫ぶ

咸南文川郡嶺系論評會場の椿事

咸南文川郡主催同郡論評會は八月三十日より三日間開催せられ一日終了したるが同夜餘興として觀物會を催し手踊の餘興ありし所過つてカンテラの火を落したる爲め數百名の男女狼狽し居たる事とて會場は忽ち火に包まれて阿鼻叫喚の巷と化し十八名の男女重輕傷を負ひ內二名は翌二日死亡し他の三四名も生命危篤なりと（元山特電）

●高倉北濱銀行頭取重態　北濱銀行頭取高倉藤平氏東京にて重態の急報に接し夫人三日朝東上したり（大阪特電）

商況

大阪株式

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

雜報

●三品更に昂騰　第一信入電

第二信は當限三百十四圓十錢先限十六圓に昂騰し約五十圓方の大引返

●大連取引所動搖

方の昂騰　底値より四十二錢

●線布氣直る　遂に八圓臺に暴落

二錢十圓丁度

意氣漸く強し

買網を張り　二百四十三圓

無篩内見送り

●銅依然軟調　內地は市價次第に下落

●鐵材高保合　表（く）買氣價引下げ

此上價格の騰貴を促す

調節約束を受く　全然軟化

●紙類は成行値　意外に不穩

三巴仲買店

●石炭納札　幾分警戒

●八月中の漁況

●糯は高保合ひ

今村覺次郎

下關相場

京城正米

釜山穀物

生魚市場

確實迅速　鷹澤正太郎

仁川期米　四日前場

二十五錢と同事に先十七圓

天候一錢安　大阪五節入電　八十一錢安

仲買店

市場寄閒　保合頭重し

▲大阪の成行

六丁の大反撥

仲場大阪觸大

天候依然たり

調節令の強弱觀

仁川米豆取引所　四日の十一月限

[illegible]

小楠後髮り

[illegible]

世界に誇るべき果物
歐米人大邱產の苹果を賞味す

久米技師は苹果の爲め[illegible]

南鮮殊に大邱附近は氣候風土果樹の栽培に適し其成績も漸次良好にして將來有望の生產物として益々發展を遂げざる可からざるに拘はらず遲々として更らに振はざるの狀態にあるは甚だ遺憾に堪へざる所なり之れが原因は種々の事情に因るものあるべしと雖も重なる理由は大部分の栽培者が經濟の實力に乏しく且つ眞面目の經營を爲すべく努力の足らざるに因るべしと思はる以前同地は[illegible]の生產に殆んど資產を擧げて經營を爲したる結果は

▲意外の不成績に 終はり其後同地住民は大なる打擊を蒙り其遂に新植未だ癒へざる爲め資金融通に窮し果樹栽培に就ても信用を失墜し居れるに頓着なく其する資本を投じ濫りに栽培の擴大を企てたる結果は販賣時機を待つの猶豫を得る能はざる爲め秋季成熟を待たずして附近及び京城市場に搬出し自然市價を低落せしめ居れるが如き狀態に在るを以て益々資本主の信用を失ひ少部分を除くの外は何れも其經營の窮境に陷れるもの〻如し畢竟此等栽培者の窮地に陷れるは

▲自ら招ける罪に歸す べしと云へ大邱附近の如き所謂天惠の果樹栽培地をして斯かる狀況を示し生產の發展を鈍からしむるは國家經濟上決して成行に委すべきことに非らずとし實に其筋に於ても貯藏の方法を教示し價格の保護を謀るべきことを研究したることありしも更らに功果を見ず今尚ほ從來の失態を繰返しつ〻あるは實に遺憾に堪へず其貯藏設備の如きも頗ふる簡易にして地下七八尺を掘下げ茅又は蓋を以て屋根を作り干土を以て二尺許りに掩ひ僅くに過ぎず斯くて冬期に至らば地中の濕氣は

▲樹果の萎乾を防 ぎ餘りある濕氣は屋上に昇騰して安全に久しく貯藏し得べく現に模範場にては同設備に因りて貯藏したる昨年の果實は今日猶ほ味を變せず斯くの如くにして春期果實の缺乏期に市場に販賣を爲さば秋季七八厘にて販賣を爲すもせる果實が六十錢以上にて販路に輸す作ふて需用者を得べし現に本年春季の候に浦鹽方面より一個七錢に購入を爲し得は販賣の多少に拘はらず迄りと聞けり之に反し土質同地の如き優れたるにあらず栽培者も僅かに十數戶に過ぎざる

▲三浪津の如きは 同業者の組合を組織し經濟に注意を怠らざりし結果未だ數年を出でざるに數千圓の積立金を得肥料の改良資金の融通等圓滿に行はれ益々發展の狀況に在るを見れば大邱も他に倣做し能得たる高加索斯の果實に比し敢へて劣れることなく現に歐米人が大邱附近の苹果を味ひて高加索斯の產に劣ることなしと賞味せるに徵するも其品質に於ては他に對して遜色ありと認むることなしと信ずる以て大邱附近の果樹栽培者は官民協力して誠意經營に努力し現狀の狀態を改め得は將來の發展は期すを得べし風土は人爲の如何に優せんとす

蕎を賄ふ旨申越したることあり爲に居者も之れ等の事情は素より承知し居れることとなりと云へども全く實力の足らざる爲め時機を待つ能はざるに因ることは云ふ迄もなしと信ずれば栽培者も充分自覺して資本家の信用を得べく誠意を以て努力を爲さゞる可からざるに從來同地方の栽培者は多くは此努力に缺ぐるが如き行動あ

▲世界最優良として 名をざる風土の利を占め居れる大邱附近の果樹栽培者の現時の狀態に在るは全く誠意努力の足らずして只目前の利に迷ひ且つ資本主に對し誠實を缺ぐの結果に基くものとして栽培を爲し居れる爲め自然高價に販賣を爲さゞるを得ざるに拘はらず[illegible]る能はざる業[illegible]たる大邱附近の果樹栽培業者は此際發奮相協力して誠意經營に努むることは緊急のことたるべきを自覺せざる可からず(大邱)

廻遊觀月會の再擧
九月廿九日(土曜日)舊暦十四日 再擧仲秋明月の夜盛大に開催

不幸にして天候不良連日の降雨殊に天の爲め折角の廻遊觀月會の催しも一時延期の止むを得ざる事となりましたが主催兩社は千五百餘名會員各位の御投書と三四關係當局の御厚情に對し奮勵一番再擧を決定し期日は來る二十九日(土曜日)即ち舊暦十四日(雨天は順延翌三十日の日曜日舊暦十五夜仲秋の明月)とし中止延期の場合も依然當日の會場に充てたる城東淸涼里の計畫設備の如きも倍大完全を期して居り升 猶ほ餘興も

餘興
◇郊外活動寫眞 ◇洋樂隊大演奏
◇大滑稽博多俄 ◇妓生舞踊數番
◇今井劍士劍舞 ◇陽氣な五人囃

等新趣向を添加へて一夜の清遊を十分に提供する豫定になつて居り升。『觀月會員券』に關しては滿鐵管理局、京城電氣會社の承諾を得て今回販布の會員券を其儘

◇廿九日再擧觀月會券に通用 する事に決定仕ましたから。夫迄各自町事に御保存當日御使用方を希望して置き升。大日本ビール四百名の大團體を始め三四の團體は早くも主催社の誠意を諒とし此際再擧大會參加を快諾せられましたが、一般會員諸士も亦成る可く繼續御參加の御衷心より希望致升。夫れとも會員中に

◇會員券返却會費償還希望 の方あらば來る七日より十日迄の間に御面倒乍ら本社營業局に會員券御持參あれば引換へに會費參拾五錢宛を御返濟致し升。但し十日以後の引換申込は御斷り致升

主催 京城日報社 每日申報社

今が胃腸病に罹り易い時
腹を冷やしては不可ぬ

そろ〳〵と涼風が立ちそめて來ましたが、本當に秋の氣候に入るのは十月で八月の末から九月へかけては全く不順の候であります。昨日暑かつたと思へば、今日は非常に涼しかつたり、日中はむし〳〵照つてゐても、夕方や明け方は冷々〳〵します。この時に、多く罹り易いのは

◇胃腸カタル で、原因は寢冷から來てゐるのが多く、寢る時はそれ程でなくても、夜中急に冷[illegible]く〳〵したりするので、腹の皮は薄いものでありますから、外氣の溫度にすぐ刺戟され消化をわるくして、その結果は胃腸をわるくします

◇今頃、水泳ぎ をする人達もこれと同じ樣な理由で、胃腸をこわすものが多いのです。秋口には、よく嵐があるもので、都會では大雨が降らなくなつても、嵐のあつた地方を流れ〳〵て來た雨水が、大河や海に突じ、四方の空氣の溫かなのに反して、非常に冷たくなる事がありますから、こんな水の中で泳いだりすると、排腸筋の

◇痙攣を起し たり、冷水のために腹を冷したりして病氣になりますから、溫かい水なら、一寸位は差支ないとして、冷水のなかでは絶對に泳がぬ方がよろしい。傳染病は大抵秋になると減るものですが、それでも不熟な果物を食べたり、あまり澤山食べすぎたりすると、腸チブスや赤痢に罹り易いから、果物やざつま芋などの

◇皮は必らず 剝いて食べること(これは皮は不潔なもので時々黴菌がついてゐるから)寢るまへに澤山、食べないこと、腹部を冷さぬこと等に注意するが肝心であります。それから、今年は幸にコレラが少いやうでしたがそれでも、油斷すると罹り易い危險があるから、食べ物によく注意しなければならぬ。殊に子供は、胃腸病の他に風邪や扁桃腺炎にかゝり易く、朝晩の涼しい時に餘り冷かした空氣を呼吸すると咽喉を害する恐れを注意せなければなりませぬ(某醫師談)

◆琴湖江の曳網◆ 二尺の鯉=八餘の鯽

[illegible](大邱)

◎慈善大音樂會 京城日本基督教婦人會の主催になる慈善大音樂會はいよ〳〵四日午後八時より開會各名手の出演あるべしと會場は長谷川町日本基督教會な堂

◎忘機吟社例會 忘機吟社例會は九月九日午後一時より大和町三丁目曹溪寺に於て開會する由

◎妙心寺接心 臨濟宗妙心寺にては五日より九日まで例に依り接心會を開く筈なるが每日午後六時半より九時半まで也なりと

濱の砂

■早まつた自殺 東京府下品川の木賃宿加藤房吉(五〇)は病[illegible]に洗列拉の疑ひがあると醫師から診斷されたので夫れを悲觀して自殺を遂げた

■不義者を斬る 三重縣志摩郡和具村庄れの田野上重平(四七)は[illegible]の守衞を勤めてゐる內縁妻[illegible](三六)が情夫を拵へたので八月二十八日夜[illegible]

■貪慾な夫婦 岐阜縣加茂郡三和村[illegible]元五郎(四六)妻きん(五一)兩人は長男金五郎(二五)に村の安川さん(二一)を貰ひ受け二人の間に生れた長女はつ(二つ)を虐待して死に至らしめた廉で取調べられてゐるが元五郎夫婦は相當資產あるも嫁を迎へたのは不經濟だと云つて若者夫妻を放逐した上孫をいぢめ殺したのだと

■危險な隣人 名古屋市東區[illegible]丁目佐立[illegible]元次郎(二五)から妻きぬ(二七)を寢取られたと邪推して三十日短刀を以て元次郎を慘殺し已れも自殺を企て重體に陷つた

■富士へ二十萬人 富士山東表口御殿場では三十日富士の登山閉山式を執行した本年は御殿場、須走の兩口共登山者が各十萬人以上あつたさうで本年は有史以來の新記錄であつたと

演藝案内

黃金館 電話二三六六・二三六七 [illegible]

壽館 京城壽町 電話五七八番 浪界の女王吉田小奈良一行 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三 [illegible]

初日以來大入御禮 大阪女義界花形揃 豊竹榮昇一行 浪花館 多人數に付き六時卅分より

浪花館 明治町 電話二六〇 大阪女義太夫界の花形豊竹榮昇一行 [illegible]

有樂館 [illegible]

稻荷座 本町五丁目 浪花節 [illegible]

てんかん 病でヒキツケ 時々の病も自宅でヒミツでなおす事の出來るた詳しい本を無代進呈す 困難の方切手二錢送れ永年の番 名古屋市中區南小川町 救生館

◎產婆生徒募集 規則書要郵券 福岡市外水茶屋町 福岡產婆養成所

十四金ペン先 スワロウ印 萬年筆 一圓五十錢より八圓迄 [illegible] 各文具店に販賣せり

京城長谷川町十九(電話七三一番) 內科 外科 小兒科 花柳病科 [illegible]病院 特に肛門病診療 每日午前中に限る

釜山商店案內

米穀調製器 收穫用器具 朝鮮勸農商會 販賣 竹製消火器 南鮮發賣元 釜山本町 地方特約店募集

雜貨卸問屋 [illegible] 釜山大廳町 明治屋本店

洋酒罐詰卸商 釜山長手通 あづまや商店 振替京城三九〇番

內外雜貨卸問屋 長岡商店 釜山長手通 電話八[illegible]番

內外雜貨卸問屋 釜山本町二丁目 近江屋支店 電話八二〇番 振替京城一三七番

商報發行 卸問屋 洋菓子洋酒 食料品 英米直輸入 東京三河屋 滿鮮代理店 釜山幸町 ミトヤ商店 MITOYA.CO

內外雜貨 鍋釜金物 サクラビール 石油 卸商 近藤商店 釜山本町三丁目 電話長七六八番

中央婦人病院 京城明治町二丁目(元渡邊病院下樋通) 電話[illegible] 院長[illegible]

タカヂアスターゼ
高峰博士創製の本劑は從來北米及英國にて製造の品を販賣し來りたるも今回本邦に其工場を設け純國產品となれり
類似模造品を本劑と同一强度又は同一効力ありと稱し販賣するものあり注意を乞ふ
本劑は粉末及錠劑の二種あり
本會社發賣のタカヂアスターゼは總ての胃腸患者に賞用せられ殊に本邦人に最も多き澱粉消化不良症に起因する諸症に用ひて卓効を奏し從つて能く其榮養を扶く
東京室町 三共株式會社
TAKA-DIASTASE ゼータスアヂカタ An isolated digestive ferment originated by DR. JOKICHI TAKAMINE 三共株式會社

內科 小兒科 入院隨意 京城旭町 [illegible]野醫院 電話[illegible]

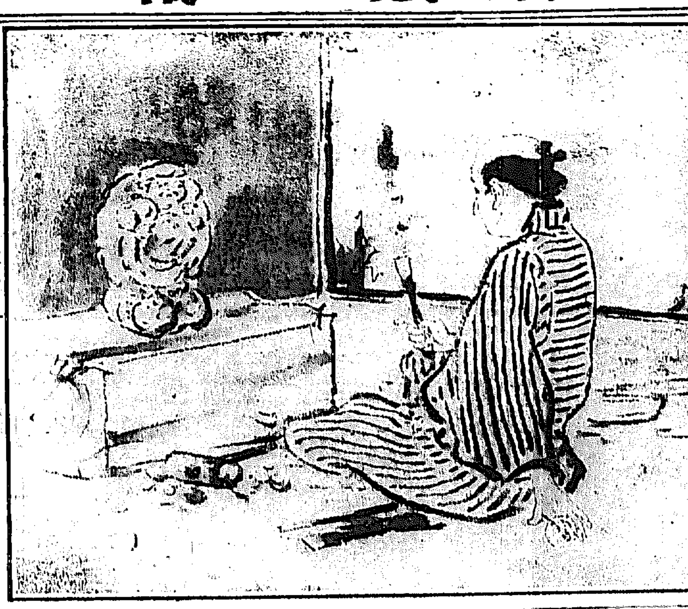
朝鮮特產藥用人蔘配合 人蔘精生葡萄酒 ニンジンブドウシユ 各一打 一圓高
[illegible] 人蔘精葡萄酒 ニンジンブドウシユ 各一打 五十錢高
▲九月十日より値上げ即日實施▲

致富之基—商報—送呈 大阪堂島米穀取引所仲買人 片山政藏商店 堂島濱通壱 電話北[illegible] 多少に拘はらず御用命の程奉願上候

眼科專門 入院隨意 京城明治町東拓横(電話二〇四四番) 江頭眼科醫院 日曜祭日午後二時迄 江頭富雄

好評嘖々たる携帶用 大阪 商工業者の羅針盤 仕入案內 仕入商人の好伴侶 第十年九月號出づ

內科 小兒科 京城永樂町一丁目(商品陳列館前) 村上病院 院長 醫學士 村上龍藏 副院長 熊本醫學士 [illegible] 電話六三二番



左甚五郎

第十七席

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

棟梁政右衛門は甚五郎を遊ばして置く、當人も平氣で飯を喰ふ時と厠に行くより外は下りて來ません、政右衛門は詰をくゝつて居るが、そこは女房のおつる馬鹿々々しいと思つて

つる「ねエ棟梁、あの二階のボン州だがね　政「ウン　つる「あれは何時までもあゝして置いたつて仕樣が無いね　政「ウン仕樣がねえと云つてもいゝふ人間だからな　つる「人間だからつてばかぐゝしいぢやアないか、あんなことをさしておくなら追出してお仕まひな　政「ウン處が追出す譯には行かねのだ　つる「何んだつて　政「彼奴に帳場で始めて會つた時に大工の政右衛門といふ者だ、俺の家へ來イと云つたら、棟梁が置いて世話をしてくれるつもりでも知御が父グズ〱云つて出て行つてくれろと云はれると困るといふから、馬鹿を云ふなお前を置いて誰がグズ〱云つたら追出しても、お前の世話をすると想うて云つたのだ　つる「醋いことを云ふじやアないか　政「スルと彼奴が、流石は關東魂、偉いと思う云つた、前にそんなことを云つてあるんだから彼を追出す譯には行かねえんだ　つる「つまらないことをお前さん云ひやアないか馬鹿〱しい　政「まア宜いや、何とか今に氣が付いて仕事に行くだらうから、どうか勝を例して、政奴は只の者ではない、と流石は棟梁政右衛門の眼に止つた所に目を付けたから何も云はないで捨置きましたが、現今いたしまする内其の年の暮となつた　政「時にボン州、然う遣つて居る内にもう觀音樣の市が來る、與の木小屋に幾らもくだらねエ木があるから、詰らない奴等は雪擦きだの塵取だの、踏臺だのと種々な物を作らへて、其品を市へ持つて行つて、春の小遣を拵へる、それだからお前も今の内一ッ何か作へて春の飲料を稼せいぢやア何うだな、木の屑は要らねエ、何うせ家にあるものだから　甚「成程、此方へ來て種々な棟梁の厄介になるが、然うさね、此の暮を遊んで居ても勿體ない餅米の幾許を一ツ稼がうかな、何うだね棟梁、五十兩も餅を搗いたら大概澤山だらう　政「大きなことを云ひなさんな、五十兩の餅を搗いて何うする　甚「イヤ一ッ五十兩の稼ぎをする、それでは木を貰ひますよ」と毎日酒を飲んでブラ〱して居りましたが、仕事にかゝると全然酒を飲まないで云ふのが此の人の偉い所で、政右衛門に云はれて氣の付いたのが伏見に居りました時に、五十兩の手附を置いてそれぎりになつて居る大黑樣を作へて……二階へ上げた大黑樣、悉皆出來上りましたから晒の布で之を包み、御酒を供へ燈明を上げ　甚「棟梁、駿河町の越後屋といふ店へ奴を一つ使に遣つておくんなさい、大黑樣を持つて行くと先方から金が來る　政「ウーン巧い物を作へた、全體此品は幾何に賣るのだ　甚「是を持つて行くと五十兩だ　政「エーツ、大變に高い大黑樣だが、五十兩だ……何しろまア奴を一つ使に遣て見やう」と是から小僧が早速日本橋駿河町の越後屋へ參りまして甚五郎の手紙を出しましたから、手代の善兵衛が之を開いて大層喜んで早速政右衛門方へ參りまして、右の大黑樣を見て大きに感心いたし、且幸び　善「是は何うも結構に出來ました」と五十兩の金を置いて立歸りました、時に甚五郎が短册を書いて其の大黑樣に添へて遣りましたのが、

守らせ給へ二ッ神逹

是は元來三井家に有つた運慶の作の惠比壽樣に兩頭は福手で粟の一摑みと遣いた短册がある、それ故甚五郎が守らせ給へ二ッ神逹と付けたのでございます、此は今以て三井に殘つて居るさうでございます。

花柳病 皮膚病 須古醫院 京城府明治町二ノ三二(元領事館跡) 電話二一〇二番

九月六日 九星
舊七月二十日 辛亥
木命 一白 北 平 次 引

りん病 急性慢性を問はず博士新發見の新藥配合の淋疾を服用ひあれば全治速なり 七日分一圓 十四日分一圓六十錢 木藥は他に御賣せず直接本舗に御注文あれ 京城黄金町三丁目 電話京城三三七番 山田文殊堂藥房

アザにそばかす なまづホクロ入墨除 等の爲め困難の人はハガキにて申込あれ皮膚を害せず最も手輕に而も其効力確に偉大なる他に類なき良劑を紹介す 東京市向島小梅町 不老藥院

るいれき病に 永年苦しむも手術せず肥大せる淋巴腺を縮め消散せしむる良劑あり 東京芝高輪北町 三救生堂

牛乳御用 京城東四軒町 岡野牧場 電話二九〇番

胃腸最新藥 チケスチン
日本藥學十三ヶ國專賣特許 胃腸疾患食慾不進 實剤後の恢復期 發育補給の目的にて腺病質小兒の營養不良等に實用せらる 常用すれば血液を増し精力を盛んにす ◎說明書送呈 東京本町 總發賣 關城商店

事務員募集 內地中流商業又は銀行會社事務に經驗ある者數名採用希望者至急申込あり度し 三菱兼二浦製鐵所

關西デ一番ヨク勉強シテ一番品揃ノヨイ 化粧品石鹸問屋 ハコ、伊勢勘号 大阪東區南久寶寺町三丁目 電話南長二八四〇 振替大阪二五六番

ヒドイたんせきも!!
タンセキ改良劑 呼吸器散 呼吸器丸
本劑は最新治療の法理に則り特別の製劑を施せる呼吸器病にても如何に頑固なるも一週間服用試み下されば タンを排りセキを鎮め胸苦しきを和らげ安眠の効を奏する事必然なり
肺病豫防劑 ●息苦しく胸痛む時 ●喀出夜眠られぬ時 ●聲潤れ出ざる時 ●たんに血の交る時 ●のんど腫れ痛む時 ●たんせき切れ難き時 かゝる時效あり
價十錢 廿錢 四十五錢
本舗 東京市日本橋區本町 丹平商會藥房 全國到る處の各藥店にあり
不思議の效驗を奏す

消化と毒けし 仁丹
新發賣 金言容器 十五錢包に添付す
活用 能率増進 元氣回復 胃腸強健 精神爽快 香味絶佳
特長
●藥量……十錢包の二倍入なれば眞に徳用
●金言……教訓二章宛印刷し絶好の修養資料
●容器……紙製にて携帯頗る輕便
愛用家諸彦!! 一度お求め遊ばせ

レート化粧料 小賣價格改正
一個ニ付 壹錢値上の種目
レート打白粉 レート加里 レート水白粉(大瓶) レート歯磨(小袋) レート新打粉 レート水白粉(小瓶)
一個ニ付 參錢値上の種目
レート乳白化粧水(大瓶) レート煉白粉(中瓶) レート椿香油 レート頬紅白粉 レートフード(特大) レートクレーム(中瓶) レート特製打粉 レート椿油(五勺入)
一個ニ付 貳錢値上の種目
レート乳白化粧水(小瓶) レート透明化粧水 レートクレーム(小瓶) レートフード(大瓶) レートチエリー レートポマード(大小) レート煉白粉(小瓶) レート粉白粉(四入) レート紙白粉 レート洗粉(大袋) レート歯磨(大袋)
一個ニ付 四錢及五錢値上の種目
レート固煉白粉 レートクレーム(大瓶) レート煉白粉(大瓶) レートポット白粉
右大正六年九月一日より實行仕候
諸原料及び附屬品一切の暴騰に付餘儀なく右値上仕候何卒御賢察の上一層の御愛用願上候
レート化粧料本舗 東京 大阪 平尾贊平商店

汽車 京釜線

京城日報
第三版
九月五日
（夕刊と合せて八頁）
本紙定價 一部金二錢五厘 一ケ月金五十五錢 郵税一ヶ月金拾五錢 ……
廣告料 ……
發行兼編輯人 …… 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社 電話 ……

東京期米（前場引）
當付 二〇、八七　高値 二〇、九八

大阪三品（電）
寄付 二〇、三五 二〇、三九 一九、七〇
高値 二〇、二〇 一九、三五 一九、六八

仁川米

▲四日後場 大阪前場二節四七十三銭各地後場末着にて富地仁川米は中十八四四十八錢より

▲結局保合 天候依然朗にて大阪の安定に十七四十六錢より三錢と押したるが大阪の投資商人氣に煽られ二十八錢と跳ね返したるも戻り賣物多く十八錢と押したるが天候の依然朗なるにて利喰に新……

▲大激戰商盛 ……

▲雨量過多 ……

▲人氣動搖す ……

●虎疫と通漁者 昨秋朝鮮に於て既に虎疫發生の兆ありしを以て同組合にては內地關係各府縣に對し出漁者に豫防注射勵行を希望する旨三月其々通牒を發したりと（仁川）

物價騰貴と調節策（二）
歐亂以來物價の趨勢

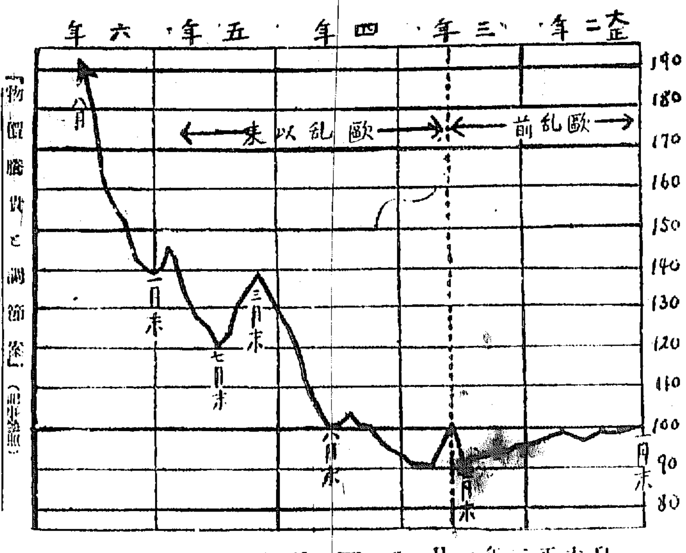
▲一般的騰貴　今日の物價は部分的騰貴でなく一般的騰貴である今年になつて總てがめき〳〵と高くなつた。物價表を一覽するまでもなく、此の兩三年續けて家政を執つて居る細君の腑に問へば、何が倍になつた彼が三倍になつたと一々指點する位に諸式が一齊にあがつて居る。是れでは遣りきれないといふ嘆聲が到處に聞ゆる。さらば日本の物價が如何に騰貴の狀態に在るか、少しく説明を加へて見やう。歐洲戰亂以前の大正二年一月以來戰時中の本年夏までの物價の大勢を東洋經濟新報社の物價指數に依て圖表として此處に揭ぐるものに就て見れば讀者は直ちに騰貴の勢の如何に盛なるかを知り得るであらう。玆に揭ぐる圖表は穀物、食料品、及び其他の食料品、纖維物及び同原料品、金屬、雜品の總平均相場を、大正二年一月末に於ける市價を百として以降の市價變動の狀を指數にて示したもので、大正二年一月より同三年の中頃までは低落の勢を示して居るが、三年の中程即ち歐洲開戰と同時に急に上向いて居る、大れより又下落したがそれも僅時で三年の下半季以後は一高一下の裡にズン〳〵と騰貴を示し、本年に入りては少しの下落もなく只もう上る一方で、猛烈な勢である。二年一月より三年七月頃までは騰落の差著しからず、うね〳〵と進んで居るが開戰後は波瀾洶湧の有樣である。二年一月の平均指數百に對し、六年七月頃の指數は百九十を超えて居る。少しく具體的に云へば、大正二年の物價は九月前後に稍々上向いたが、大體は漸次下降の傾向であつた。翌三年に入ると此下落の趨勢は愈々著しく七月末の總平均は九〇、九となり大正二年一月末に比すると九分一厘の下落となつた。歐洲戰爭の勃發に際して、轉じて少しく回復の徵を現じ來り八月末には一〇一、七に達したが、然るに九月に入りて再び下落して十一月末には九〇、四といふ開戰以來今日迄の最低記錄を示した。併し其後は大正四年の七八月と五年の七月前後に蹉跌したのみで大勢は騰貴を告げ、昨五年十二月上旬末には一四六、五に上つたが、其頃獨逸講和提議説の突如として傳へられし爲め反動的下落に傾き本年一月中旬には一三七、五まで下つたが、三月初より又復騰進し始め四月五月と奔騰又奔騰、七月に入つてからは素晴らしい暴騰を演出し七月中旬には一七八、〇に達し、之を開戰前の大正三年七月末に比すれば實に九割五分八厘の騰貴を告げて居る（圖表參照）

弘法大師と國民の信仰（四）
（本社主催通俗講演會に於ける講演）
文學博士　黑板勝美

然るに日本國民の神祇崇敬なる建國以來の信仰は、永い間には多少消長があつても今日に至るまで依然として存續し來つた。此の間に於て儒佛の思想が輸入されたが、國民的信仰は脈絡一貫し以て今日に至つたのである。一面に於て佛教に歸依する者と雖も、神祇崇敬の念は恐も祖先と異ならない。或は時代に依りては神祇崇敬の形式に於て相異する所ありとするも、其の精神に於ては何等差異を認めぬのである。聖德太子は深く佛教を信ぜられたが、決して國民固有の信仰を無視されたのでは無く之を助長し、之を發達せしむる御考へであつた。私は此の場合、聖德太子の御事業に就いて一言を費すことは必ずしも徒爾ならざるを信ずる者である。最初日本に渡來せる佛教は、言ふ迄もなく支那人の解釋せしものであるが、聖德太子は之を其の儘日本に弘通されたのでは無い。之が我々の考ふ可き點であらうと思ふ。太子は彼の法華經、梵網經、維摩經及び觀世音經の四經に對し、自ら筆を執られて註解をお作りになつて居る。此の事實から考へると太子の御精神が奈邊に存したかゞ推知し得られるのである。推古天皇の憲法十七條中にも神祇崇敬の念を敦ふす可きをお示しになつて居る。此の憲法は聖德太子が攝政として發布されたもので、神祇崇敬の念を敦ふす可しとは推古天皇のお考へであると共に、亦た聖德太子のお考へであつた。又太子は大臣以下を率いて神祇の祭祀を行はれた事實がある。即ち此の時代より神祇崇敬の精神と佛教の信仰とを如何に調和す可きかの問題に逢著し、之が解決に努められた跡があるのである。

新文化の輸入せらるゝ過渡期に於ては、動もすれば古き信仰は捨てゝ顧みられぬ傾向を馴致する。例へば明治初年より二十年頃迄は西洋文明が滔々として輸入され、一時は彼の鹿鳴館時代と稱せらるゝ如き、極端なる歐化主義鼓吹の時代を現出したるより、漸く弊風を醸成し、次で國粹保存の必要を感知するに至つた。即ち必ずしも西洋にのみ美點長所あるに非ず、我にも亦此の如き長所美點ありとて徒らに西洋文明に心醉する惡を覺るに至つたのが明治二十一年以後である。歐化主義の盛んなりし頃は、帝國大學の文科には西洋史の講座はあつても、日本史の講座は無かつた。恰も之と同じ現象が推古天皇以後に至りて生じ來つたのである。一方から言ふと、新文明を輸入して舊文明を打破せんとする時は、餘程急速な方法を採らねばならぬかも知れないが、此の點は指導者が最深の注意を拂ふ可き所であつて、時勢の急轉直下する場合は、動もすると新思想が極端に擡頭し來るものなる事は考へねばならぬ。實に大化の改新以後、奈良朝に至る間、支那文明は盛んに輸入せられ、國粹保存の意味は半ば忘却された觀があつた。天武天皇は深く之を慨嘆し給ふたけれども、國民全體より見れば、支那文化に心醉し、信仰方面に於ては滔々として支那人の佛教に歸依したのである。彼の南都佛教の如きは即ち是である。佛教の根本的教理に至りては何處も同じである可きだが、併し乍ら大れの行はるゝ國家若くば民族に依りて、其の解釋に相違を生じ來るは蓋し已むを得ない點である。即ち支那に行はれし佛教は支那人の解釋した佛教であるが、之を其の儘日本が採用したのであるから、忽ち從來の信仰と衝突した。日本美術の精華である奈良朝の美術は、日本美術思想は、支那思想の影響を受けたものであるが、其の雄大なる美術思想は、事は多辯を要しない。彼の奈良大佛の如き世界に誇る可きものを造出したが、顧みて當時の國家問題に想到すれば實に恐る可き危險期であつたと一例を舉ぐれば、聖武天皇は親ら三寶の奴と卑稱せられ、大佛の前に跪かれたと云ふが如き事實は、皇室の威嚴を云ふ點より見て、實に危ない御考である。又或は八幡大神が、大佛に憑讃し佛法を聽きたいと宣はれたと云ふ夢のお告があつたと云ふ如きは、續日本紀の記す所である。是れ神を佛より一段低しとする思想である。其の他當時の記録を見るに神が佛の教を受けたいと云ふ事が所々に散見する。即ち此の時代に在りては、佛教を以て超越的性質を帶び、皇室以上のものと爲す思想が生じたのである。支那に於ては斯かる思想が生ずるも敢て差間ないであらう。支那では支配する勢力ある者が主權者と成りて國民を統御するのであるから、主權者は假令佛教より一段低くとも、國內の秩序は維持されるであらうが、日本に在りては絶對の權威が皇室に在ると云ふ思想で建國以來進み來つたのである。

「物價騰貴と調節策」（記事參照）



自大正二年一月 至大正六年八月 我國物價の趨勢

芙江附近の雪日　虎耳
土城址に草花ばかりの盛りなる　猪山
落雷に柳枯れてあり草の花　笑江
船絶つて河岸寂しき草の花　武陵山
渡り鳥膨するか上に餘越したり　笑聲山
芙蓉が峰二百二十日を夕照れり

誰（57）
布施生譯

「それで實際の盜賊は誰でしやう、八島でしやうか、藏部でしやうか、それに藏部樣が一件に關係してきたのは何時頃でしやう。」「そこまでは分りませんわい、それで實は檢事の處へ呼付けるのは見合せてゐるのです、今から十日經つてもまだ分らなかつたら仕方がない、之までの顛末一切を檢事に打明ける事にしやう、いや時に私は明日一寸旅行に致しますぞ。」「何處へ、お旅行になるんです」「ボオケーへ行きますや、彼處は藏部と保部の與樣との故郷ぢやから、留守中八島と藏部の監視は警察へ賴んで置きましやう、それから君樣、これは大切なことぢやが貴樣は私の留守中此處で謹愼して居なければいけませんぞ。」「一寸待りました」鈴富は言を改めて「貴君が御出發になるまでに貴君の御本名を明かして戴きたいものですが、それから又何故貴君が此樣迄私を世話して下さるのか其理由も伺ひたいと思ひます」こう言はれて藤繩老人は淋しく笑つた、そして「それは君樣當分お預けに致したい、貴君が愈々藥さんと婚儀が調ふやうになつたら美那子が立會の席で明かしましやう。」

老人が出發してしまつた後鈴富は沁々と別れたあとの淋しさを味つた。打見には途方もなく肌觸りが荒々しく見えながら實は此上もなく優しい親切な老人は一體何者であらう。そして何を調べて何時歸つてくるのであらう、鈴富は小兒が乳母の歸りを待焦れるやうに老人を懷かしがつた。往つてから便りは二度ばかりあつた。一度は手紙で鈴富の父に遇つた事を知らせてきた。二度目は藏部の馬丁に仕込んでゐた密偵を通じて萬事都合よく運んでゐると云ふ報知であつた、こうした淋しい日が續いた九日目の事である、鈴富は何氣なく其の朝の新聞を開くと、

[illegible]保部銀行頭取保部[illegible]氏の令嬢[illegible]は今回藏部利介氏との婚約成り[illegible]盛大なる式を擧ぐる筈なり

讀んだ鈴富は雷に撃たれたやうに驚いた。そして一時に逆上あがつた、逆上た餘り彼は老人との約束も匿名の手紙の卑怯な事もすべて一切忘れてしまつて、突然机に向ふと大急ぎで手蹟を變へて次の手紙を走書いた。

保部君人足下——足下は足下の出納係た[illegible]然に引證せり、これ足下が彼の有罪を信ずるよりして自然的[illegible]睨むる所を捺したるものなれば余は之に對して何事をも謂はんとする者にあらず、然れども彼が銀行の金を盗みたりとて、彼が又同時に足下の內室の歡心を盗み[illegible]したりと推定すべき理由ありや、余若し足下ならば余は此の如き奇怪なる過失を犯さゞるべし、余は此點に足下の美しき令嬢を監視して[illegible]之に聽くべきのみ、余は更に令孃が婚儀を調ふるに先ち、足下がまづ警察に願ひて警務が藏部利介氏に關して有する所あらゆる調書の供給を請はん事を希望せざるを得ず、正直——足下が友人の一人より

書終ると町角まで往つて郵便函に入れた、丁度時刻で入れると直に集配人が來て持て往つた、往つてしまつてから鈴富は初めて飛んだ事をしたと氣がついた、後悔しながら宅へ歸ると、さあ立つても居てもゐられない程自分のした事が氣になり出して堪らなかつた。

丁度此時藤繩老人の方では一切の調査を終つて歸路の汽車に乘つてゐた、老人が調べあげたお土産は全く驚いたものであつた、之で今迄は事實と事實の繫合せた處々透間が出來て其處を想像で補つてきてゐたのが今は悉く連絡がついた。其取調は次のやうなものであつた。

雜誌抄

◇米國の船舶　[illegible]報ずる所によれば米國から聯合國へ提供さる可き船舶は左の如くである
計畫中の鋼鐵船　四百隻　二,〇〇〇,〇〇〇噸
未着手鋼鐵船　百四十八隻　一,三六〇,〇〇〇噸
造船中の木造船　七十七隻　六三〇,〇〇〇噸
即ち合計四百三十六隻[illegible]噸である更に是に七月十三日契約進行中であつた追加木造船一百隻を加へねばならぬ（新東洋）

廣告

最新刊
日鮮對照警察用語　丁　五五
機械工學便覽　市川忠一　三、〇〇
麥品種論　武川總七郎　一、二〇
交戰國民の心理狀態　五八
衣服哲學　高橋五郎　一、八〇
續世の中　定價二圓
婦德の修養　棚橋絢子　一、〇〇
小兒病看護學　長尾折三　一、〇〇
吳服店繁昌策　高木正巳　八〇
修養と日蓮主義　本田日生　九五
無代進呈　最新版圖書分類目錄
大阪屋號書店
京城　一、石拔筆用箋箋外二點勝賀ネ詳細ハ九月三日朝鮮總督府官報ニアリ
大正六年九月四日　京畿道

婦人公論　九月號
良人の爲めに罪を犯した女（澤田撫松）
十三歳で大學を卒業した小兒自然教育法（中村孤月）
命を輕んずる日本の女に與ふ（高島米峰）
新學期始まる歡迎せよ日本の女學生（和田校長）
秋の夜の細句の話（井上秀天）
主婦の注意すべき新聞記事（水野葉舟）
潜水艇の話（寺野博士）
米價騰貴に對する主婦の注意（青山主人）
自由意志による結婚の破滅（伊藤野枝）
お產の經驗（西川文子）
飛んだ盗詮索（池田白汝）
金物の話　家庭科學（近藤教授）
女人神聖（谷崎潤一郎）
秘めたる戀（徳田秋聲）
連載小説 春宵記（小山内薫）
鼻を高くする法（田中院長）
一女學生に答ふ（泉千代田校長）
子を思ふ親心（わらび生）
定價三十錢　東京市本郷區西片町十番地　中央公論社

手紙上手に成るには
親切丁寧にて判り易く何人も筆まめと成り手紙上手となる。
講義　講師佐々醒雪大町桂月先生外二十有餘名
●大大特典あり●添削無料●入會の最好機會なり
會則見本進呈　一ケ年卒業
最新書翰講義　東京市芝區櫻川町郵便局前　大日本書翰學會

朝鮮彙報
朝鮮彙報　大正六年九月號　定價貳拾五錢 郵税二錢五厘
主要目次
口繪　鬱陵島の道洞港口、全北金山寺の七重塔、京畿道の優良苗木　島模範場の苹果栽培狀況、
鮮滿鐵道の統一……人見鐵道局長
李朝の土地制度と高麗との連鎖……淺見高等法院判事
近年の豪雨……平田觀測所長
發電水力調査（承前）……遞信局
行政　濟生院事業報告◎咸南の行政區域名稱◎正六年上半期の朝鮮貿易◎大阪對朝鮮貿易◎七月中の貿易◎雜穀實收高◎特用作物實收高◎菜豆に關する調査◎夏產豫想外數件◎況の引繼◎電報通信狀態◎遞信事業概況◎狀況◎間島の朝鮮人教育◎朝鮮在住內地人の戶籍屆出方法院出張所の設置◎朝鮮國有鐵道◎六月中經濟概況◎內地留學生◎不動產登記令の施行及地
李朝五百有餘年間に於ける模範的石橋……渡邊彰
製箸事業に關する調査……林廠
◎地方通信◎雜報◎敍任辭令◎統計◎法令及通牒◎判決例
▲投稿を歡迎す　原稿締切期限每月十日
▲販賣店　朝鮮各地の書店にて販賣す
▲廣告料　一頁十圓　取扱店　京城　ウツボヤ書籍店

大審法院 大邱覆 訂正增補 第六版 出來
通譯生山之井麟治氏著
鮮文普通文官應試提要
受驗者の必備書
菊判 百餘頁 定價金七十錢 郵料金六錢

本書發行以來端なくも天下の耳目を聳動し版を重ぬる事數年來心血を傾注して著者が數年來心血を濺ぎ完成せし結晶物にして諸士の活眼に及ぶ所なるべし今や更に第六版の新裝をなし面目を一新し以て江湖の期待に副はんとす
發行所 大邱 王村書店
賣捌所 京城日報代理部 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番

京城日報　戰爭の目的

今春露國革命以來、露國政治家の戰爭に對する意見に變化を見る、他の一方には北米合衆國の戰爭に參加して、切りに言論戰に努むるあり。これが爲めに世間、此戰爭は何を目的とするものなりやを、疑ふものなきにあらず。併しながら戰爭の目的は實力を以て其敵を破碎するにあり。最近、北米合衆國大統領の、羅馬法皇に回答する所に就て之を見るも、英佛諸協商國日米及び米國の共通の目的は、獨逸を破碎して役た趣つ能はざらしむるにあり。其他紛々の言の如きは、只是れ饒舌贅辯のみ。

米國大統領は獨逸皇帝の政策を非難し、斯る不信の平和を講ずる能はざるを切言す。若し此の言の如くば、假に獨逸が和を請ふも、米國政府は之を容るゝことはなかるべく、結局獨逸を亡ぼすにあらざれば、此戰局を收むべからず。實際に就て之を見るも、獨逸軍數は利を失ふて退くときは、遂に其國内に革命を引起すべきは何人も豫知する所にして、假令大敗北とまでならずとも、若し此戰役にして、此冬を持越すがごとくば獨逸國内に由々しき大事を湧出すべき模樣ありと云へば、米國大統領の言ふところは、決して架空なりと云ふべからず。或は獨逸に革命又は内亂起り、其戰鬪力を内より殺却するにあらざれば、戰役の終局を見るべからざるやも知れず。其原因は何れにあるにせよ、日米及び協商諸國は、獨逸が其實力を失つて、促た趣つべからざるの實相を認むるにあらされば、其戰を止むることなきや言を待たざるなり。

最近、露國の形勢に懸念するもの甚だ多し。獨軍の西部戰線にあるものは、只僅かに英佛軍の進勢を喰ひ留め居るといふに過ぎずして、其東ら一歩一歩退却しつゝある有樣なれども、獨り、其の露國に進入せるものは、到る處破竹の勢を以て進み、露人之を防ぐの力なくして、空しく敗退を續くるといふ醜態なり。此分ならば、或は、露國政府は莫斯科に遷るの外なかるべく、只さへ露國内混雜多き折柄、其首都ペトログラードを委棄するが如きとあらば、人心動搖更に甚しきものあるべし。此度莫斯科大會の經過に就て之を見るも數日前まで露國統治の全權を委任すべしと稱へられたる、クレンスキー氏に對する人氣著しく減じて、却てコルニロフ將軍を崇拜するものの日に增加するの傾あり。然れども、戰鬪益々其利を失はゞ、又々人氣の變化を見るも知るべからずして、革命中人心常なきに際し、戰鬪進りに利あらざるときは、政局の轉變亦極りなく、今日、主戰論勝を制するも、明日、講和說勢力を得るがごときとなしと云ふ可からず。是れ協商諸國の最も苦心する所にして、米國大統領は、全力を注いで露國を援助すべきことを鮮明し、既に、軍費軍需品の供給に就て大なる便益を與ふるところあり。是れより更に進みて、其戰鬪をも援助す可しと云へば、露國民亦、自ら此に奮起する所ある可し、露西亞にして其向ふ所を誤らずむば、獨逸は遂に其手を著くべき所なくして、自ら倒るべきや論なし。

觀瀾亭雜俎　蘇峰生

○英國のモンテーグ卿は、不日飛行機が、世界運輸交通の機關たる可きを宣示し、倫敦より印度に到る行程表を、作製したり。

○此表に據れば、倫敦より印度カラチ迄、四千五百三十哩を、凡そ四日間に飛行するを得る也。而して其中飛行時間は、三十九時三十五分にして、旅行一切の時間を計上すれば、八十三時間三十分となる也。

○如上は必ずしも架空の談として一笑に附し去る可きにあらじ。吾人が予孫は、吾人が飛脚船に乘るが如き心持にて、悠然泰然として飛行機にて往來するならむ。

○日本は島國なりと稱したれども、此の空界制伏は、日本の島國たる本來の位置を、失墜せしめつゝある也。一切の國防、及び經綸を、島帝國の立場より割り出したる吾國も、根本的に之を更正するの必要は、最早眼前に迫りつゝあり。

○吾人は早晚太平洋心に、飛行機、飛行船の來往するを、豫期せざる可らず。斯る場合に於て、東京の安全は、倫敦以上なりと云ふ可らず。然らば則ち、其の場合に處するの覺悟は奈何。吾人は如何なる場合にも、攻勢的防禦を以て、防禦の最上策と信ずるもの也。何よりも大切なるは、我が國家及び國民が、其の多大の努力を、飛行界に向て竭すにある也。到底の問題は、只だ晩と早との相違にあるものと知る可し。

×　×　×　×

○大隈侯の病氣見舞として、東本願寺前法主大谷伯は、其の愛藏の五葉松一鉢を贈りたりと聞く。大隈侯の盆栽趣味は、大谷伯程に徹底したるものにあらざる可し。されど大隈侯を怡ばしむるは、解語の花よりも、少くも其の中年以後は、無言の花木にある可し。實に恰當の見舞品也。

○今を距る二十有餘年、大隈侯は我が洪水老人に、早稻田邸より松の盆栽を贈られたり。之を逗子老龍庵の庭前に移植したるに、一時は危く見ねたり。されど洪水老人の丹誠にて、其の生氣を恢復し、今や孤松鬱相、蒼鮮生じ、高節擢ひ、主人非なるも、庭樹は愈よ欣榮の趣あり。

○予は今此の孤松に對して、本文を草しつゝある也。大正四年、我が國民新聞が、創立二十五年期の祝宴を、上野公園に開くや、大隈侯は宰相の爲めに、一場の演說を爲し、而して故洪水老人と、此の松樹とに言及せられたり。侯の記憶の善きは、今に始めぬことながら、予は實に暗涙の襟を濕すを覺ねざりき。

○予は序でながら、早稻田大學内訌の、速かに落着せんことを祈る。惟ふに本文の紙上に掲載せらるゝ頃には、定めて然る可き歟。諸君若し一場の私情を去らば、解決に於て、何の難題か是れあらむ。是亦た松の盆栽に優る、大隈侯に對する見舞ならむ歟。

○英艦隊掃海船を破壊す

英國艦隊は八月三十一日朝ジュットランド沖にて敵の掃海船四隻を破壞したるが捕虜乘員の一人は語りて曰く「掃海隊は突然英艦隊の爲に發見されて其包圍を受けたるが此の時敵艦隊は西方及び南方並びに北方の三方面より攻擊し來りたるを以て吾等の窮地を脫し得べき途は唯だ丁抹方面に向ふの外なかりき敵艦隊の發射せる砲彈の數は一千五百發以上に及び掃海船は坐礁する時既に沈沒に瀕しつゝありたり」（倫敦電報）

○陸榮廷以下任命發表

唐繼堯氏は雲南、貴州、四川三省の靖國軍司令官に陸榮廷氏を廣東軍政府總司令に陳炳焜氏を元帥兼副司令に陳炯明氏を廣東警備總司令に、馬濟氏を水路總司令に任命したる旨發表したり（上海特電）

○吉長鐵道再交渉開始

吉長鐵道交渉は日本側委員龍居、岩永氏等の北京着と共に再び開始せらるゝ事となり八月二十八日午後三時交通部に於て日本側は船津書記官は公使代理として兩氏を交通部に同行し曹總長に紹介し且つ交渉に關する打合せをなせる結果

三十日より交通部に於て談判を開始したるが日本側は右兩氏の外に牛島他四郞氏通譯を勤め支那側委員は權量氏外一名にて字句の修正其の他枝葉の問題を決定し追々調印の運びに至るべしと（北京特電）

○沒收敵國汽船賃借

支那政府にて沒收したる獨墺汽船は今回三菱に於てチャーターする事と爲り同船受領方に就き商船亞米利加丸船長以下（船員百十名乘組）は四日門司を發したるが右は油頭にて二隻廈門にて一隻を受領すべく歸著は本月末頃なるべしと（門司特電）

○調節令と商議

東京商業會議所にては物價調節令の適用範圍に就き農商務省に明確なる說明を求むべしと（東京電報）

○兩院議員廣東行

五日參衆兩院議員約三十名廣東に向け出發の筈なり（上海特電）

◉全南農作狀況

千葉全南道技手の報告に依れば本年の

▲稻作 は生育の初期に際して水量不足なりし結果其の後の生育稍不良の傾向ありて分蘖等も不充分の箇所勘からざりしと雖も八月に入りてより適當の降雨ありし爲め用水潤澤を告げて作況は一般に見直すに至れり目下三割の出穗狀態に在れど例年に比して五六日の遲延を來せり今後の天候適順なるに於ては平年作以上の見込なり

▲棉花 五六月の候旱害を蒙むりて生育著しく不整なりしが八月に入りて生育を促進し開花期の如きも特に例年に比して遲延を見ずと雖も播種當時旱害の影響は大體に於て良好ならざる結果を來せしもの如く目下作柄に依つて之を觀るときは平年作に比し多少の減少尠なくも一割五分内外の減收を來すべき見込みなり

▲施肥 の觀念は近年著しく向上し來り各地共土地の狀況に應じて野草藁類草葉類等を原料として堆肥の製造に努むる者著しく增加するに至れるが右は稻作棉作獎勵等の總て施肥の結果頗る良好なる成績に就て實驗したるに基くものにして殊に綠肥としての紫雲英栽培の如き適當なる指導獎勵の結果本秋の作付反別は著しく激增するに至れり

○夜盜蟲害猖獗

平安南道价川、中和、江西、大同、江東各郡に亘りて夜盜蟲發生し粟、黍、稗、蜀黍等の被害あり又た江原道旌善郡管內にも夜盜蟲發生して粟の被害激甚なるが兩道とも郡面吏員等耕作者を督して驅除捕殺に盡し居れりと

◉京畿 麴製造近況

京畿道管内に於ける酒類製造原料麴の生產狀況を聞くに主なる生產地は高陽、江華、廣州の三郡にして其の製造並に販賣高は自家用として一箇年間の製造高一萬四千七百六十五石郡内酒類製造用としての消費高六千四十一石、管外移出高七千五百八十二石を算せる現況に在りて主要なる製造場は三百七十三個所なりと

◉日支聯絡驛改正

九月一日より朝鮮鐵道線と支那鐵道線との間及び滿洲鐵道線より朝鮮鐵道を經て支那鐵道との間に於ける日支旅客及び手荷物聯絡運輸取扱驛左の通り改正せられたり

▲鮮滿線 釜山、南大門、仁川、平壤、鎭南浦
▲京奉線 新民、山海關、天津、北京
▲京綏線 南口、張家口
▲京漢線 石家莊、鄭州、漢口
▲津浦線 濟南府、徐州府、浦口
▲滬寧線 南京、上海（北驛）
▲滬杭線 杭州
朝鮮（[illegible]）日東京、横濱、名古屋、京都、大阪、三ノ宮、神戶、下關、門司、長崎なり

◉日支小荷物聯絡

本月一日より新に日支聯絡小荷物の取扱を開始せるが各鐵道に於ける取扱驛左の如し

▲朝鮮線 釜山（安東奉天經由）▲鮮滿線南大門、仁川、平壤▲京奉鐵道北京、天津
▲朝鮮線釜山（釜山安東奉天經由）▲鐵道院東京、横濱、名古屋、京都、大阪、神戶▲京奉鐵道北京、天津

◉米豆仲買人增員

仁川米豆取引所仲買人は定員十二名なりし處近年取引高增大し且つ從來の儘にては營業狀態の敏活を缺く等の關係上十五名に增員を申請したるに對し今回總督府より許可ありたり然して此れと同時に仲買人の身元保證金は二千圓なりしも三千圓に增額したり（仁川）

◉全北秋繭共同販賣

全北道に於ける本年度秋蠶繭の共同販賣は近く全州、任實、裡里の三箇所に於て執行さるゝ筈なるが開始期は尙ほ未定なりと

◉教員講習會終了

學校の暑中休暇を利用し先般來京城中學校内に開設し居たる臨時小學校教員養成所卒業者講習會並に京城高等普通學校內に開設したる臨時教員養成所卒業者講習會は八月二十三日を以て無事終了し同日直ちに修了證書を授與せるが臨時小學校教員養成所卒業者講習會を修了せるもの五十六名及び臨時教員養成所卒業者講習會を修了せるもの五十六名合計百十二名を算し盛況なりしと

◉司令官巡視

松川軍司令官は左記豫定により南鮮駐屯各部隊の巡視を行ふ可しと

▲九日 午前八時四十分龍山出發大邱步兵第八十聯隊大邱分隊
▲十二日 晉州守備隊
▲十三日 鎭海灣要塞司令部鎭海重砲兵大隊馬山分隊
▲十四日 龍山歸任

隨行者は軍高級參謀山本中佐副官野邊大尉の兩氏なりと

◉忠南二部長赴任期

新任井上忠南第二部長は來る七日京城出發赴任すべしと

◉紡織調査員視察

朝鮮紡織會社調査委員田邊輝雄、茂原林平の二氏は四日午前再度來仁直ちに[illegible]島及び桃山軍用地方面を視察したり（仁川）

●高橋大尉西鮮出張　軍司令部附工兵大尉高橋毅一氏は地理資査の爲め來る六日出發同二十日歸着の豫定を以て平安北道地方に出張すべしと

◉新羅丸の休航

關釜連絡船新羅丸は來る九日より十七日まで九日間下關に於いて汽罐掃除の爲め休航其代船として七日竣工の櫻丸は夜航便として就航すべしと

◉大阪財界便り

▲禁止と鐵市場 米鐵解禁運動は已に六商業會議所大阪鐵商組合阪神の解禁期成同盟會等極力の運動しつゝあるが大體米國に於ける一箇年の產鐵量は約三千七八百萬噸にして其中鐵材は一千二三百萬噸にて本邦に輸入さるゝ同鐵材は百萬噸以上に達せざるも本邦にては僅に枝光製鐵所に於ける四十萬噸內外の製產力より持せざるを以て近次の鐵價は著しく市況を刺戟し一般鐵材は悉く二割乃至三割方の昂騰を示し丸鐵十五圓內外のもの二十圓に鐵板三十圓內外のもの四十六七圓に奔騰を見たるも禁輸の前途模糊（多分解禁の運びに至るべきも）として豫斷すべからざると稀有の高相場にあるより何れも反動的現象の表現を恐れ進んで思惑を試むるものなく當用必需の買物に止まる狀態なるが米國と本邦市場と對比すれば尙ほ三割の高況を示し居れば禁輸制限の撤回と共に必ずや多數の輸入を見るに至るべしと一部の樂觀論者は語れり

▲暴落と莫大小 莫大小業界は從來紡績絲破格の高値永續したる一方海外輸出極めて不況なりしにより各製造業者間に於ける製產能力は約六割方減じ甚しきは製產休止のもののすら多く出でたるも昨今綿絲の大暴落は莫大小業界にとりては原料仕入の爲めに至極頃合の相場なれば今後綿絲相場の斯くの如き程度に止ること久しくば莫大小業界は漸次盛況を呈するに至るべく海外輸出に於ても幾分色めき來らんには勢ひ從前の如き大隆昌を見るに至るべしと

▲苛性曹達漸騰 苛性曹達は本邦に於て製產さるゝもの僅に全消費額の三割に止まり殘餘は專ら米國より供給を仰ぎ居れるも昨今各種工業一般に製產力の增加したるに伴ひて需要益々激增したるに一方米國よりの輸入比較的減少し爲に相場漸騰し百斤二十六圓を唱へ最近期間内に六圓方の昂騰を見たり一方曹達灰は苛性曹達の商況に伴ひ英灰十六圓米灰十三圓の各二圓高を現はせり（大阪支局）

人事消息

▲宮崎虎次郎氏（全州農銀支配人）五日朝入京不知火へ
▲岡村浮之助氏（咸興農銀支配人）、[illegible]太郎氏（同上）四日夜入京山本旅館へ

■百聞百種■

新任の海軍次官栃內曾次郎中將は鳥渡變つた處のある人だ▲曾て旅順で將に溺死せんとした時軍艦から救助の綱を投げると▲「下士卒昇降口は不可ない將校昇降口の方へ投げよ」▲と漸く泳ぎつゝ怒鳴つた有名な話もある▲先年日露戰爭から歸つた時中將の歡迎會があつた▲席上幹事が「南洋の近情を聞ひたい」と申出ると▲「準備して來ないから御免蒙る」と膠もなかつた▲すると隣席に居た田中館愛橘博士が「君は軍人ではないか若し敵の襲擊を受けた時準備がないからと云つて應戰を避くる事が出來るか」と一本參つたので流石の中將もヤヤフン▲大隈侯が何としても字を書かぬ事は有名なものだが▲侯と同郷の佐賀人に聞くと▲侯は非常な惡筆の上に漢學時代には有名な惡文家であつた▲個々文章でも書かうものなら脫字やら誤字で殆んど讀めもせねば文章の體を成さぬ▲當時同人間には惡文の事を「八太郎だ」と云つたものだそうな▲自知の明ある八太郎君は爾來文章を斷念し讀書と議論の一點張りとなつて今日に及んだとの事▲大隈侯と云へば侯が病中語切りの宰議人や御客は非常なもので厨部は每日三度々々平均五十人前にも上り▲出入の料理人は總出で若い女中なども十數名手傳に來て居る▲飯許りでも一日一俵の米でも足らぬとは御仁ても大袈裟な事は日本一だ

英國倫敦イーラスミツキ會社製造
化粧品新荷到着
石鹼＝ピヤレス　エジプト　タキシバス　外十五種
藥用石鹼＝カルボレーキ　ホワイトロース　ツランスペーレント
香水＝イーラスミツキ　ランジヤンラン　カスタ　ヒメリヤブゲー　外十種
結晶香水＝クリストル
香油　白粉　各數種
英國イーラスミツキ會社代理店
朝鮮滿洲總卸元
大連市伊勢町四十八番地　田中洋行　電話二四七番・振替口座一四四四番
特約店又は小賣店は各地到る處に在り

驚くほどスグ能書になれる
手習ひの通信教授
大日本習字速進會　東京駿河臺

百圓の露國公債を四拾餘圓で賣出
確實有利の放資物●買時は只今也
引受賣出額　拾萬留
發行及償還　大正四年發行　同十五年…總償還
利率及支拂　五分五厘
申込期限　九月一日より同十日迄
申込證據金　百留に付き金五圓也
價格及引渡　四十九圓均一　引換
取扱所　京城櫻井町　仁川仲町　平壤旭町　忠北清州本町
引受賣出所　日本勸業銀行
債券月賦販賣所　同櫻井町支所　同仁川總代理店　同平壤出張所　同忠北總支店

池田
イケダ小兒病內科醫院
京城三越吳服店前（入る旭町四丁目）電話（醫院二三四番　自宅八八〇番）

醇良無双清酒

無害衛生　品質無双
釀造元　福岡縣城島町　首藤合名會社
發賣元　京城黄金町二丁目　首藤京城支店　首藤釜山支店

カーバイド
並に各種ランプ及附屬品
田中カーバイド鮮滿總代理店
京城南米倉町十七番地　山陽商會　電話二一九二

新羅の舊都に遊ぶ（十一）

金大城の經營せし佛國寺を見る……多寶塔と釋迦塔……技術の靈妙に驚く

五道踏破旅行記者 李光洙

の朝食後佛國寺を見る、關野博士の考證によれば、寺の創立は法興王の御代にして、今を距る約千四百年なるも、古史によれば、訥祇王の御代我道の創立せる所にして、法興王の時重創せらるとなす、百年許りの差にて候。されど佛國寺が三千餘間の大刹となりしは、石窟庵と同じく金大城の手に依れるものにて候。現存せる寶物たる青雲白雲の兩石橋も、多寶釋迦の兩石塔も、石窟庵の石佛と竝びて、新羅藝術の代表的作品と稱せらる盧舍那銅佛も、金大城は當時の名門の貴公子にして、獅子も悉く當時の作品にて候。金大城は當時の名門の貴公子にして、據三千餘年佛國寺と石窟庵とを經營す、彼は實に此の事をなさんが爲に生れたる者と存候。彼が成佛を願ふの一念は、圖らずも彼が祖國の唯一の記念となりしこそ目出度くも悲しけれ。

青雲白雲の兩橋は、橋とは云へど川に架けたるにあらで、大々東西兩門の入口の階段にて候。當時は其の下に川ありしやも知るべからず、其の意匠技巧共に實に驚嘆の外無之、殊に泛影樓の石柱の優美なる實に言語に絕す。釋迦塔は極て單純なれども、其全體の形の整美なる點に於て、平凡中の非凡を見るべく、多寶塔に至りては其變化に富める、調和の好き技術の靈妙なる、見る者をして唯嘆然たらしむ。如何なれば斯くも雄渾

佛國寺釋迦塔

美麗なる想を構へ、如何なれば斯くも巧妙に堅き石を取り扱ひて、自由自在に己が想を實現したるぞ。其の人の顏の懸しきかな、手の見度きかな、何れも五層の塔にして、多寶は東に釋迦は西に大雄殿の前を飾る、釋迦塔は一名無影塔と云ひて、昔は影なかりしならんも、今は時勢變りたれば立派に影を有し候。

の大雄殿は幸に壬辰の兵燹を免がれたるも、累次俗惡なる修繕を加へられ、されど柱、棟、梁の如き大材及び全體の構造は、千五百年前の通りなる由にて候。有名なる盧舍那銅佛は、己が殿を失ひて阿彌陀佛の殿内に

佛國寺多寶塔

見る、百數十棟三千餘間の新羅の佛國寺の遺趾にて候「假我途」「假途輔」の悲劇さへなからんにはと、今になりて惡むも詮なし（八月十七日佛國寺にて）

ら一隅に居候となり、俗惡なる坊主共によりてぺたぺたと白火を塗り付けられ候。

◇極樂殿の門前に、是亦拾ひもの、石獅子は、何者にかしたいか捲ちのめされて、上顎こそ取れたれ其の鄕新羅の石獅子の自眉にして國寶にて候と、意氣揚々首を擡げ居候。

◇寺の後方に廻るも側面に廻るも、離々たる青草の中に、荒涼たる荊棘の中に蓮華形の礎石の整然と居竝ぶを

龍丸の坐礁

下關目の山にて

郵船會社チャーター船（龍丸三千噸）は神戸よりカルカッタへ向ふ途中四日午後四時下關いの山下にて坐礁したるが滿潮時を俟つて引卸す筈なり損害程度不明なり（門司特電）

尾湖川の増水

郵便物遞送不能

四日朝來の大雨にて忠南尾湖川の兩岸とも増水五尺に達し殊に其の左岸道路は一帶に浸水の爲め濁流滿々水深きため交通全く杜絕するに至れり四日午後鳥致院發清州行郵便物は遞送不能となりたり尚清州川の增水約四尺に達し右岸は一帶の泥海と化せり（鳥致院特電）

江原道の出水

四日午後二時江原道にて豪雨の爲め新延江に増水二十二尺、南漢江十四尺に達し金化郡地方は各河川増水の爲め交通杜絕したり

僞大學生

連絡船内を荒す

福岡縣築上郡佐井村生れの藤井市郎（二二）は私立大學の制帽を被り三十日關釜連絡船高麗丸内にて同船したる長崎縣人田中眞雄（二九）と懇意となり共に釜山に上陸し三十日午後榮町の水屋にて田中の隙に乘じ市郎は田中の所持品なる現金五十三圓餘及び其

內地人に化て

遊興中取押らる

一方他人の所持品入りある信玄袋を攫つて遁走したる所を被害者に發見されて遂に取押へられ釜山署に突き出され目下取調べ中

京畿道水原郡水原面出樓里生れの鄭浦水（二二）は平南新安州大追病院に雇はれ中去る三十一日薬價其他の集金したる十五圓を受取り同夜平壤に突走り更に九月一日鎮南浦三和旅館に熊本縣天草郡湯川村松本字一と詐稱して投宿し同夜より麻山里遊廓にて內地人氣取りにて遊興中を鎮南浦署の刑事が探知し同人を取押へ引致して取調べの結果前記の事實を自狀したるが餘罪ある見込にて引續き取調中（鎮南浦）

爆發藥を密賣

慶北迎日郡九龍浦里居住漁夫柳下榮吉（三二）同飲食店營業一（三二）同川上嘉和造の三名は昨年十一月中川上方五十本入一箱及び雷管導火線を又本年四月中藤原よりダイナマイト二十本雷管二十個を何れも無許可にて譲受けて所持し居れるを浦項憲兵分隊に於て探知し銃砲火藥取締規則違反者として檢束され各月二十一日所轄檢事局に送らる

醬油より化粧品の發明

大阪工業研究所若木技師は醬油より化粧品を製出することを發明したり（大阪特電）

慈善音樂會（四日夜京城日本基督教會にて）

人參製劑組合計畫

京城府内に於ける人參製劑業者は現在に於て十六名なるが古市町藤原久滿吉外五名發起の下に人參製劑業者組合に依り人參同業組合設置の計畫あり其の目的は製造並に販賣上の弊害を矯正し且つ共同の利益を増進せんとするに在りとその手續順序として人參は從來同業組合に由る業務の範圍に包含せられ居らざりし故此れが認定を共筋に申請せしに此程に至り認定の指令ありたりと傳へらる而して大正五年に於ては殘蔘十萬斤に製劑約五萬斤此の價格五十萬圓に及べりと仍ち斯の如き趨勢に在る人蔘製劑業の有利なるを世人漸く知らしめ爲すれば之れが密造を企つる者亦漸次増加し粗惡の製品を濫造し甚だしきは價格の廉なるを奇貨として滿洲及び內地産等の人蔘を輸移入製劑し高麗人蔘と稱し顧客を欺瞞する者續出するに至れる際なれば前記組合の設置は斯業の爲め寔に時機に適應せるものと云ふべしと當業者は語れり

洋々の音響

餘興を恍惚たらしむ

京城日本基督教會の慈善音樂會

京城日本基督教會の慈善音樂會は四日の夜九時より開催、折からの雨天にも拘らず

▽非常な盛會

であつた、出演者は以前鎮山の軍樂隊に居た人で目下東京音樂學校の研究科に在る大塲勇之助氏とこれに朝鮮ホテルのオケストラをやる人々で何れもピアノにヴァイオリンに令名ある清水幹三氏、岩崎寛氏が加はつて豫想以上の成功を收めたのは何よりのことであつた、プログラムは何れも堂々たる大ものばかりであつたが

▽最初の合唱

は以上の人々に安東圭之介氏、秋山夫人、江籾合嬢、正田合嬢、田中合嬢等が加はつて露國の民謠、水の流れ等の面白きものを試み次いで清水氏のピアノ獨唱アンプロンプチュ（即興曲）があつた次にヴァイオリンの岩崎氏

▽拍手喝采あり

次に江島嬢のピアノの清水氏の伴奏で舞踏曲とゆたふ小川の次ぎには林三五郎氏のピアノ獨奏があつた、大塲勇之助氏のヴァイオリン獨奏マヅルカはポーランドの舞踏曲とかで非常な大喝采であつた、第二部の合唱は「過ぎしツクラウ」に始まり清水氏のピアノ獨奏越後獅子から安東氏の獨唱歌劇「アイーダ」より……の上首で

▽美事な出來

岩崎氏のハンガリアンの舞踏曲は再度試られ、次にミス氏の獨唱は二度試みられたが何れも大喝采であつた、終りに大塲氏の舞踏を踊つたが大喝采で十一時近く閉會、此の上とも度々是等の催しをして貰ひたいものである

足拔き酌婦

京畿道漣川郡內料理屋山樓萬年山出張所の酌婦熊本縣上益城郡河村生れの下山ろ子（二〇）は抱主大夫に虐待されたりと稱し八月二十日頃無斷家出して京城に逃げ來り黃金町の飲食店に潛伏中を抱主が發見して連れ歸らんと前借金を便ろ事を受けしがこの自暴の前借金を便り論を受けしが私引きして落籍したるは裏面に情伏在し居るものゝ如くつゝ目下京城の飲食店にて同樣稼業中

緩急車を狙擊す

去る廿九日夜八時頃下り第十一列車の滿洲南端を驀進中線路約一哩を進行中何者にか緩急車を狙擊され硝子窓に命中せしかば破片は室内に散亂し折柄執務中の波多江車掌は其破片に觸て頭部右腕及び手首等に都合四個所の傷を負ひ……此の事件に就き同地派出所の憲兵及び保線班員約五十名は四時頃に於て迴線路附近の巡查は第七列車にて吉田警部補外三名の巡查は第七列車にて吉田警部捕外六名出張し附近の村落に就き調査中を追擊し來りて然んに銃火を交ゆる居りし官賊の兩車は離散の後なりしかば次の第十一列車を待合せしに然し到著すれば途中に於て前記の如き警察兵と協力なるべき……

▲とんだ元山の稅關長になつた矢鍋君は長から度支部關稅課長に出世した名「ステッキの山師」なる敬稱がある▲ステッキの山賊と綽名されるやうに何處でもステッキみたいなものを喫へて……（なるほど）▲ヤッパリ身長五尺に足らぬ矢鍋君にとつては薬缶を喫へて大いに納りかへつて居ることで筆も短かしで見立て……

堀尾大僧正渡鮮

東京芝增上寺管長堀尾大僧正は同寺再建の浄財を勸請すべく九十歳の老齡を提げて滿鮮巡錫の爲め來る十日東京を出發する由（釜山）

小奈良乘込

同奈良丸の一行は……京城に乘込み……

金牌受領

本椿香油

本椿ポマード

男女頭髮用（チックびん附も時代遲れ）

毛を黑く柔げつやを出し……

大阪 三宅商會 本舖

白神洋行（仁川 京城）

鐵材、鋼板、浪板、平板、針金、洋釘

ペイント、油類一切、コークス、セメント、耐火煉瓦、モルタル、スコップ、シャブル、帶革、ロープ、機械、工具、附屬品

洋服 秋冬服割引特約 京城黃金町 日新商行

移轉 京城水標町四八番地 産婆 友枝マキ 電話六四〇番

內地產 竹卸小賣（販賣）富山竹材店 地内は一東上上 配達無料 電話五三六番

廣告 當會社解散致候に付き當會社に對し債權を有せらるゝ方は大正六年十月五日迄に御申出相成度候若し期間内に御申出無之時は其債權は清算より除斥せらる可く候 大正六年八月三日 朝鮮商產株式會社 清算人……

京日案內

鍋谷由次郎

公債株式現物賣買 加藤商店

恩給立替 何年分でも 西村商會

鑛擣礦器 中根商會

鑛物各種分析 松永分析所

ハカリ印

配劑の妙

適確なる藥劑の巧妙なる配合に因つて顯るハカリ印のヘブリン丸は其配劑の優れたる寔に理想以上なりと諸大家は之を賞讚せりカゼは勿論總べて熱病に罹れたる場合には速かにハカリ印のヘブリン丸を服用して熱を解き全快せらるべし

瀨戶外科皮膚科醫院（診察時間 九時迄夜）京城旭町二丁目 醫學士 瀨戶潔

內科 胃腸病 石川醫院 京城本町一丁目 診察夜九時迄

昔 今 效能で賣れる ひえ〻と（大日本大阪高津）

優等清酒 一鶴 發賣元 本莊酒店 黃金町四丁目十一番地

入院隨意 酒井婦人病院 京城永樂町二丁目 院長 酒井一郞

櫻御殿

第六回 大阪殿の家主人

小山の軍評定(三)

勝といふ法號だけに、彼は進退に迷つて居た、三成を征伐するのは、取りも直さず大阪の城を攻撃するのである、假ひ表面に秀頼の名は出て居らぬにしても、今度の旗上が秀頼擁護の名義に由つて思ひ立たれてあるのは云ふまでもない、三成に力を添へて、近頃取り分けて厚誼を運んで呉れる家康に弓を引くのは本意でないが、大阪の城に少しでも疵が付くのは彼の衷心から忍びぬ點である

上方に屬かうか、家康に味方しよらうか、それとも清洲の城へ蹈つて、合戰の模樣を傍觀しようか、と兎つ追ひつ思案して居る處へ、家康の手書を持つて、日頃から心服を明し合つて居る黒田長政が、德永法印と共に遣つて來て、懇々と說く處があつた、正則の意は漸く決する

「假し、さらば小山の御陣へ參らう」

長政は正則を半日の中に說き伏せて、小山の本營へ伴れて來た。正則は豐臣家に大恩がある、のみならず秀吉には一寸した血縁もかゝつて居るから、秀頼の爲めなら、今と云つて今死ぬのも厭ふ所はないが、石田三成とは前々から犬と猿との間である、今度の旗上も三成が盟主で無くて、前田利家か加藤清正か、或は黒田如水(長政)の父が旗頭になつて居たら、すぐ清洲の城へ蹈つて、上方へ加擔したであらうが、三成が總大將して內府公にお味方するか何うか、これはお目に掛つた上の事ぢや」

斯う云つて同道した、三人の乘つた馬が小山の陣營の前に嘶くと、家康の旗本から、本多佐渡守と大久保五郎右衛門とが迎ひに出た

正則は悠然と進み入る、長政は後へ從く、法眼は宇都宮で應對した顚末を報告すべく、直ちに家康の居間へ通つた

正則の來着と共に、軍評定開催の觸が廻る、諸方に陣を取つて居る者へは、長政が宇都宮へ行つて居る間に、それ〴〵回狀を廻したから、皆が早馬で駆け付ける、中にも池田輝政、淺野幸長、藤堂高虎、加藤嘉明、細川忠興、筒井定次など聞こえた者が澤山居た

評定の席は、本營の大廣間をもつて充てられる、座敷に併び切れぬ者は、縁側から庭前へも食み出す、正面には家康、その隣に結城秀康が控へて、一方の上席は池田輝政、一方の上席は福島正則、以下二列に席を取る、家康は席の定まるのを待つて、今度三成が兵を擧げるに至つた事情を自己に有利な方面から說いて後

「さて各自、斯樣に相成つては致し方がない、家康不肖なりと云へども、太閤殿下御遺言を受けて居る、その一身を守るのは、取りも直さず秀頼公を守るのであると思ふが故、潔く一戰に及ばうと存じ申す、然し、この中には治部少輔に縁故の深いお方もあらう、また免れ難い義理合をもつたお方もござらう、殊に妻子を大阪に置いて居られる左樣なお方々は、毛頭家康に氣兼ね入り申さぬぞ、遠慮無く當地をお立ち退き下されい、家康假令孤獨になるとも、弓矢神を頭に戴いて、最後の一戰を試み申すでござる」といふ、この殊勝らしい詞に、家康の横着な心が見ゆる

彼は斯うして諸將の腹の底を探らうとしたのである、雨か、晴かを一時に知らうとしたのである、天下を一統してその全部を保つか、兩根の險を防いで關東だけを保つか、大勢を定めようとしたのであつた

滿座誰一人詞を出す者がない、此の時奮然として膝を進めて、その太い聲を上げたは正則であつた

「內府公へお訊ね申したいことがござる」

家康の目はぎろりと光る、雨はやうやく霽れようとした、一道の光が暗黒の中に見ゆる

「何事かは知らぬ、心中を打ち割つて申されへ」

家康はすぐ答へた

皮膚科

皮膚病 徽毒 淋病 膀胱 尿道 生殖器病 機能障碍

入院隨意(診察夜九時迄) 日曜祭日午後二時迄

京城明治町二丁目(元壹番町) 佐藤醫院 (電話一一七三番)

日報俳壇

夕顔

夕顔の風に鬢む厨の灯 想仙

櫻の實

實櫻や社頭に光る力石 同

夕立

夕立の水を汲び込む土管哉 琦好

虫干

虫干の藍の香家一ぱい淋し 野圃池

汗

夕餉大勢ヒトリ〳〵離るゝ汗 餘湖郎

玄關の人等大方汗を拭ひ 同

蚊帳

蚊帳を出て朝顔の雨月明 夢三

清水

舟据ゑて叢の清水若が汲む 一閑

杣が辨當措せる樹々清水哉 同

蟬

竹の葉に蟬は落付く飛びもせず 迷天

蟬の高樹に礫其儘落ちし 同

夏夕

築地崩れの標燈流し夏夕べ 柳郎

病葉

病葉の且つ張る叢の合宿所 同

夏木立

拓木乾く碑蔭の風や夏木立 迷天

句碑の苔削りし跡や夏木立 同

水路海へ落ち行く土手や夏木立 同

蟬

朝蟬やコートの白線は濃き 月小夜

花火 ―五の日十の日會―

○半校がへり一人づゝ花火筒に來て居る 浮碧樓

○花火ふりかへりても戻りたりけり 不老郎

○吹ひさしに紫燃く舟べり花火 川柿

○唐寺の花火に誦はる大きな落石 句平

○花火仕舞の若が河原の石なげ 蕣虹

○見座に投げ出した白足袋なまめき花火 岡鼓良

○花火があがる郵便を出し何の夜としらず 鳥堂

一日一句

松山を下る夕日や閑古鳥 鳥兎

野ほど咲く途上て馬車多し秋日和 白紅

甕口の館しておりぬ桐の花 安山子

きんな植ゑた水田を廻るかな 嵩丘

新刊紹介

▲フースヒー(第四三號) [illegible]

▲佛文極東時報(三五) [illegible]

▲刀の研究(三ノ八) 一部二十五錢 東京下谷茅町二の一四 南人社

▲朝鮮及滿洲(一二三) [illegible]

▲女の世界(三ノ九) [illegible]

▲文藝倶樂部(九) [illegible]

▲中央文學(九) [illegible]

讀者の領分

川筋の一米尺から水平に就ての不平から[illegible]、秋風は吹く傳染病流行の時季には成る此川筋の衛生狀態は水の爲め戰慄するものがある當局者の御一顧を煩はし度い(一川筋の囘城生)

▲京城の水害に就ては我輩にも意見がある四五年前までは水標町に一個、管井町に二個所、林町に三個所訓練院まで、の間岸に砂捨て場があつて昔は三年目に大浚渫を行つて水害を豫防したものだ然るに此砂捨て場は何日の間にやら個人の邸宅に成つてしまつた拂下げたのか拂ひ受けて居るのか知らないがせめて此の砂捨場でもあつたら假令大浚渫は行はれぬにしても水害は必ず豫防することが出來るそして其總費は現に使用して居る川掃除の人夫賃だけで充分だと思ふ(管井町生)

▲小生も訓練院川筋に七八年來住する者だが三年前までは水が氾濫して浸水するやうなことは稀であつた川床を架けてから急に被害が多く成つたやうに思ふて居るそれはかりではない一雨毎に川の淺くなるのが近頃は滅切り見ゐる樣に成つたもう一年も此樣に放置したら雨の時は大悲慘事を惹起するに違ひない寒心すべき事だ(寒心生)

腦神經衰弱を治療せよ

◎藥質を吟味して能く選擇すべし

◎實驗上家庭療法で一番好成績

◎腦の營養的最新の療法

▲平氣に考へるから危ないのです

「頭の痛いのは私の持前で」[illegible]諦めをして平氣で居るのは此上もない危ない事だ。腦病神經衰弱の[illegible]は大抵頭の痛い先驅をなして居る。[illegible]惡しい夢に魘されて[illegible]睡眠を妨げ[illegible]頭が重い[illegible]起つて來る樣になつては病勢が可也進んだものである

▲腦を休養する必要がある

世の中が進むにつけ生活は愈〻複雜となる、而して腦を使ふ度が烈しくなるのだから神經衰弱や腦病が流行るのも仕方がない。[illegible]

▲同胞の福音ご良藥

「ノーマリン」は[illegible]

▲何故リン(燐)が必要であるか!

[illegible]

▲日本人の頭腦この關係

[illegible]

▲諸君に畏げ度い物が二つある

[illegible]

▲成功立身の捷徑

[illegible]

▲全快者感謝の言

[illegible]

報酬贈呈

御用化粧料の名稱を募集す

學理の研究を基礎として調製しつゝある美顔化粧料各種は、何れも學理上、實驗上、品質の優秀なる事を認められ、世の信用を博しました、連れ、此の事次第に高貴の方々の御聞に達し、各品とも特別の御用を辱ふするに到り、桃谷研究試驗所の御信用いよ〳〵篤く、廣く世に愛藏しつゝある化粧料以外にも、諸種化粧品調製奉達の御命を拜して納品致して居りますが、其の内には、左記御覽の通り未だ名稱の附けてない品も種々あります。依つて今般此の名稱未定の品々に對し

宮家の御用品たるに相應しく高尚優美にして解り易き名稱を御附け下さいますやう願ひます。就ては左記御覽の上、奮つて御投稿を願ひます。

◆御用を辱ふしつゝある美顔化粧料各種

美顔白粉　白色美顔水　美顔洗粉

美顔コーマー　淡紅色美顔水　美顔石鹸

肌色美顔白粉　美顔水　固煉美顔白粉

淡紅色美顔白粉 (以上は御用品にして一般世に發賣せる品)

桃色美顔白粉　艶出し香油　煉齒磨

淡紅美顔白粉　艶出し煉香油　爪磨粉

肌色美顔白粉　美顔(マッサージクリーム)　爪磨液

肌色美顔水　美顔(お顔おろし用クリーム)　爪磨クリーム

美顔化粧水(一號)　頰紅　口紅クリーム

美顔化粧水(二號)　齒磨粉　口紅液

眉ズミ

(註)右の内の名稱未定の分、例へば香油、齒磨、爪磨液の如きものに對して、何品にも共通の名稱を御考へ願ひ度いのです。

報酬

壹等 金壹百圓 壹人

貳等 金五拾圓 貳人

等外秀逸 金壹圓 五拾人

投稿規定

◇名稱は何品にも共通に用ひらるゝものゝ事

◇投稿用紙は端書に限る

◇名稱は端書壹枚に三つ以下に限り明に記し且つ此廣告御覽の新聞名を記さるべき事

◇投稿は東京市日本橋區本町四丁目、美顔化粧料本舖、桃谷順天館への事

◇投稿者の住所氏名は明細に記さるべき事

◇[illegible]

◇締切大正六年拾月拾日限り

◇同じ名稱を投稿せられたる人數人もありて其名稱が何等かに當選したる場合には其當選等級の賞金を人數に等分して贈呈の事

◇當選者氏名は十一月中の本紙に發表す

◇此懸賞募集に關する御問合せには一切御答へ申上げざる事

美顔化粧料發賣元 桃谷順天館 東京市日本橋區本町四丁目 大阪市西區靱南通二丁目

山縣五十雄 村上晤吉共著 富の道しるべ 定價十五錢 郵稅二錢

日本郵船仁川出帆

○大連行 太沽(天津)牛莊行

相模丸 九月廿八日

高砂丸 九月十七日

三河丸 九月十七日 正午出帆

尼崎汽船仁川出帆

○大阪直行

○大湖丸 九月十三日 後四時出帆

○大石丸 九月十一日 後四時出帆

仁川海岸通 高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告

門司、神戸、大阪行

○和歌浦丸 九月十六日 後五時出帆

○立神丸 九月十五日 後五時出帆

○元山、浦鹽行 和歌浦丸 九月十五日 後六時出帆

○立神丸 九月十四日 後十時出帆

佐須奈、嚴原、勝本、博多行 天草丸 每月二日九日十六日廿三日 午後十時出帆

釜山 大池回漕部

仁川共同汽船仁川出帆

之罘、大連行 第一共同丸 九月五日 午後八時 / 九月七日 午前十時

仁川代理店 野口商會

朝鮮郵船出帆

京城取次店 [illegible]

[illegible]